(1) 収蔵資料の利用（閲覧・貸し出し）

当館では、民具、古文書、写真やビデオ、書籍などの郷土に関する様々な資料を収蔵している。これらの資料は特別展や講座、学習会などに利用するだけでなく、資料を傷めない範囲で市民や団体等に利用していただいている。

利用者の内訳を見ると、個人及び団体による調査研究や郷土学習のための利用が最も多く、次いで市役所内の他部署による利用が増加している。このほか学校や企業、他の自治体や博物館での利用がある。
利用資料の種別では古文書類の利用が最も多く、書籍、写真類の利用がそれに次ぐ。

◎資料利用種別内訳

資料種類	平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	件数	割合（%）	件数	割合（%）	件数	割合（%）
古文書	27	30.3	34	34.0	60	42.9
民具	5	5.6	4	4.0	10	7.1
絵画・工芸	3	3.4	2	2.0	0	0.0
考古資料	2	2.2	1	1.0	4	2.9
写真	17	19.1	17	17.0	21	15.0
映像・音声	11	12.4	8	8.0	7	5.0
書籍	21	23.6	31	31.0	34	24.3
台帳・パネル類	3	3.4	3	3.0	4	2.9
総計	89		100		140	

◎利用者別内訳

利用者種別	平成14年度		平成15年度		平成16年度	
	件数	割合（%）	件数	割合（%）	件数	割合（%）
個人	47	52.8	50	50.0	76	54.3
団体	13	14.6	13	13.0	10	7.1
企業等	3	3.4	8	8.0	7	5.0
学校	7	7.9	9	9.0	7	5.0
市役所内他部署	12	13.5	14	14.0	30	21.4
他自治体・博物館	7	7.9	6	6.0	10	7.1
総計	89		100		140	

（申請月日順）

平成14年度

No.	資料名	利用者名	目的	期間
1	飯能村絵図（複製）	天覧山・多峰主山の自然を守る会	自然環境調査報告会で展示	5/24～5/26
2	『おらがほうの標準語』	個人	地域学習	4/6～4/20
3	ビデオ「飯能シルクストーリー」	個人	調査研究	4/19～4/23
4	五玉そろばんなど4点	珠算史研究学会	そろばんの産地・年代の調査	4/21
5	飯能郷土史かるた	個人	調査研究	4/27～8/31
6	福徳寺阿弥陀堂修復関係図面11点	市生涯学習課	国指定文化財資料整備	5/8～5/24
7	『飯能市史（資料編Ⅷ）近世文書』	個人	レポート作成	5/11～6/1
8	『新座古寺の彫刻』	個人	調査研究	5/11～5/13
9	ビデオ「飯能地方のうちおり」	個人	特別展企画準備	5/14～6/11
10	ビデオ「飯能地方のうちおり」など3点	個人	特別展企画準備	5/18～5/25
11	白木正一画「原始動物」など8点	市財政課	庁舎内に展示	6/4～8/30
12	「筏流し風景」写真プリントなど2点	テレビ東京制作	テレビ番組取材	6/7～6/30
13	ビデオ「飯能地方のうちおり」	個人	特別展企画準備	6/11～6/22
14	「市制施行と三ヶ村合併の祝賀パレード」写真プリント	市秘書室	「広報はんのう」掲載	6/18～6/25
15	ラッパなど3点	飯能好友病院	回想法に使用	7/9～8/7

No.	資　　料　　名	利　用　者　名	目　　的	期　間
16	『養蚕の歴史を振りかえる』など２点	吾野中学校	社会科の学習	7/12 ～ 7/18
17	「地誌編輯取調書類」など 21 点	古文書同好会	教材の選定	7/20
18	「昭和二十年度飯能第二小学校日誌」	美杉台中学校	教材研究	7/21
19	中村正夫家文書	個人	地方史料調査実習	8/29 ～ 8/30
20	『飯能市史通史編』など３点	個人	夏休み自由研究	7/31
21	『名栗川』	個人	地域学習	7/31 ～ 8/10
22	『名栗川』	個人	地域学習	8/10 ～ 8/20
23	『飯能の水とくらし』	個人	自由研究	8/14 ～ 8/20
24	「武州百姓乱妨打棒之書」など２点	所沢古文書に親しむ会	古文書読解のテキスト	8/18
25	『中山信吉』	個人	調べ学習で使用	8/18 ～ 8/25
26	飯能村絵図（複製）	天覧山・多峰主山の自然を守る会	環境科学国際センターで展示	8/25 ～ 9/3
27	野口家銅板経	大井町立郷土資料館	特別展資料調査	8/29
28	早瀬龍江画「植木屋の男」など８点	市財政課	庁舎内に展示	8/30 ～ 12/28
29	『飯能の伝説』	精明小学校	総合的な学習の資料	8/30 ～ 9/3
30	「埼玉縣営業便覧」	入間市博物館	特別展調査	9/5 ～ 10/5
31	「壁織の着物」写真プリントなど４点	市秘書室	「広報はんのう」に掲載	9/11 ～ 9/27
32	「京都御用日記帳」写真プリント	蓮田市教育委員会	『蓮田市史通史編Ⅰ』に掲載	9/18 ～ 11/30
33	『第三次飯能市総合振興計画後期基本計画』など２点	個人	調査研究	9/15 ～ 9/23
34	『飯能祭囃子と獅子舞』など２点	個人	郷土研究	9/15
35	「水原秋桜子短冊」など２点	埼玉県書道人連盟	創立 50 周年記念展で展示	1/10 ～ 2/2
36	聞き取りカセット「筏について」など２点	個人	郷土史研究	9/25 ～ 10/9
37	「筏流し風景」写真プリント	埼玉県産業拠点整備室	新規映像ＤＶＤの制作	10/1 ～ 10/22
38	『秩父往還』など２点	個人	学習	10/5
39	聞き取り資料「筏について」	個人	郷土史研究	10/9 ～ 11/13
40	「橋梁台帳」など 15 点	個人	調査研究	10/9
41	スキ４点	個人	犂の調査	10/10
42	『強くなった武士の力』	個人	市文化祭出展のための資料	10/13 ～ 10/20
43	「三ヶ村議定一札之事」など５点	古文書同好会	学習の教材	10/19
44	ビデオ「飯能地方のうちおり」	個人	卒業論文作成	10/19 ～ 10/26
45	蔵原伸二郎画「牡丹（１）」写真プリントなど２点	現代詩の会　岩魚	印刷物に掲載	10/22 ～ 11/10
46	野口家銅板経	大井町立郷土資料館	企画展「石にこめた願い」に展示	10/23 ～ 12/9
47	「大通り商店街」写真プリントなど３点	駿河台大学	駿輝祭で展示	11/1
48	「観音寺木製白馬」写真プリントなど２点	東松山市埋蔵文化財センター	印刷物に掲載	11/1 ～ 2/28
49	ビデオ「いかだ復元」	個人	研究	11/6 ～ 11/10
50	資料保存台帳　№４	個人	研究	11/6
51	「胞衣焼却場新築ニ関スル件」など２点	個人	卒業論文作成	11/8
52	「獅子ぬり替諸入用覚」など８点	個人	お祭りについての研究	11/10
53	「相談申一札之事」など５点	個人	研究	11/10
54	「身辺奥武蔵写真風土記」展写真パネルなど 28 点	市企画調整課	講演会にて展示	11/8 ～ 11/12
55	『吾野宿今昔』	個人	地域学習	11/12 ～ 11/19
56	「飯能町の火葬場」など５点	個人	卒業論文作成	11/12
57	「衛生書類」など５点	個人	卒業論文作成	11/12
58	「振武軍旗」写真プリントなど２点	深谷市	「渋沢栄一展」に展示	11/20 ～ 12/3
59	太刀（銘「則包」）など６点	飯能刀剣会	市文化祭に展示	11/17
60	「大通り商店街」写真プリントなど２点	個人	ゼミ研究	11/19 ～ 11/30
61	『朝日百科日本の歴史８　近世Ⅱ』	市施設管理公社	事業の資料	11/23 ～ 11/27
62	「差出申一札之事」など 16 点	個人	研究	11/23
63	『東吾野郷土誌』など２点	市生涯学習課	菅公像の調査	11/26 ～ 12/20
64	「写真広報 332 号」ほか 115 点	市中央公民館	『公民館創立 50 周年記念誌』の資料調査	11/26 ～ 1/31
65	聞き取りカセット「筏について」など６点	原市場の古へを探らふ会	郷土研究	11/28 ～ 1/29
66	「筏山下覚帳」など８点	個人	研究	12/1
67	「うちおり」展解説パネルなど７点	個人	レポート作成	12/3 ～ 12/12
68	『日本修身書巻１　生徒用』など２点	個人	講話の資料	12/6
69	羽子板など 41 点	飯能好友病院	回想法に使用	12/10 ～ 2/7

No.	資　　料　　名	利　用　者　名	目　　的	期　間
70	「資料保存台帳　№1」など 11 点	個人	調査研究	1/8
71	飯能郷土史かるた	個人	地域づくり事業の資料	2/8 ～ 3/7
72	『織を学ぶ』など 3 点	個人	レポート作成	1/9 ～ 1/17
73	「広報はんのう」掲載写真 24 点	市生涯学習課	「６０歳のつどい」に展示	1/15 ～ 2/18
74	カセット「飯能筏唄」など 2 点	羽村市立羽村西小学校	授業に使用	1/19 ～ 1/26
75	「写真広報」など 2 点	飯能商工会議所	『創立 50 周年記念誌』の資料調査	1/17
76	「入間郡第一飯能尋常小学校一覧表」など 19 点	個人	調査研究	1/28
77	「御用留」など 2 点	古文書同好会	学習の教材	2/1
78	「宗門人別書上帳」など 3 点	個人	家系調査	2/5
79	「飯能町議会会議録」など 10 点	個人	原稿執筆	2/15
80	「差上申済口證文之事」など 9 点	個人	研究	2/16
81	「奥武蔵駅伝往路大通り付近」写真プリントなど 31 点	飯能商工会議所	『創立 50 周年記念誌』に掲載	2/18 ～ 4/30
82	「勤勉貯蓄組合諸務編冊」など 13 点	個人	調査研究	2/19
83	ビデオ「飯能地方の“みんよう”と情景」など 2 点	飯能第一中学校	総合的な学習に使用	2/25 ～ 3/3
84	キセルほか 15 点	原市場中学校	総合的な学習に使用	2/25 ～ 2/26
85	飯能郷土史かるた	個人	資料	2/26 ～ 3/2
86	「飯能銀座通り七夕」写真プリント	市秘書室	「広報はんのう」に掲載	2/28 ～ 3/28
87	「町議会会議録」など 8 点	個人	原稿執筆	3/8
88	中村正夫家文書	個人	地方史料調査実習	3/20 ～ 3/21
89	旧市立老人ホーム関係写真アルバム	敬愛園	開園記念日に展示	3/19 ～ 4/11

平成１５年度

No.	資　　料　　名	利　用　者　名	目　　的	期　間
1	「御廻状控」	古文書同好会	学習の教材	4/5
2	飯能郷土史かるた	個人	調査研究	4/11 ～ 4/12
3	「御廻状控」	古文書同好会	学習の教材	4/19
4	飯能村絵図（複製）	個人	講演会で使用	4/26
5	住宅地図など 2 点	市秘書室	市街地状況調査	5/1 ～ 5/10
6	「美杉台通り飯能大橋建設中」写真プリントなど 18 点	飯能商工会議所	『創立 50 周年記念誌』に掲載	5/2 ～ 5/30
7	『民間に生きる宗教者』	個人	資料作成	5/5 ～ 5/17
8	「念佛講諸掛書上」など 5 点	個人	近世飯能の産業に関する研究	5/14
9	スライド「農村の結婚改善」など 2 点	個人	調査研究	5/17 ～ 6/20
10	『かかみ野の風土』ほか 2 点	個人	絵本を書くための資料	5/21 ～ 6/21
11	南高麗地区幕末の地図ほか 5 点	個人	小説執筆資料	5/23
12	スライド「農村の結婚改善」など 2 点	個人	大学の講義に使用	5/24 ～ 6/21
13	『相模原市立博物館ＮＥＷＳ』	個人	遺稿集の検討	6/3 ～ 6/7
14	「矢颪村用水堰水取一件議定」など 33 点	個人	調査研究	6/5
15	『飯能戦争』	個人	地域学習	6/6
16	中村正夫家文書	個人	地方史料調査実習	8/2 ～ 8/3
17	『飯能戦争』	飯能西中学校	教材研究	6/15 ～ 6/22
18	刀（備州長船（祐）定／永禄口年二月日）	市生涯学習課	社会科授業の教材	6/27
19	「振武軍廻文」（複製）	市生涯学習課	社会科授業の教材	6/20
20	平成 14 年度「博学連携」ファイル	市生涯学習課	出張授業の参考資料	6/17 ～ 6/27
21	『戦国武将展図録』（埼玉県立博物館）	個人	教材	6/18
22	『幕末御触書集成』	古文書同好会	解釈の参考	6/21
23	「飯能焼筒描蕎麦文皿」写真プリント	㈱日本アート・センター	『週刊やきものを楽しむ』に掲載	6/24 ～ 10/1
24	『おらがほうの標準語』など 2 点	個人	学習	6/28 ～ 7/5
25	ビデオ「飯能の自然と風土」	東久留米市立中央中学校	遠足の事前学習	7/1 ～ 7/15
26	「事務引継書」など 8 点	個人	原稿執筆	7/11
27	スライド「農村の結婚改善」など 2 点	飯能ケーブルテレビ㈱	映像資料	7/15 ～ 8/16
28	『前ヶ貫今昔』など 3 点	美杉台小学校	総合的な学習の資料	7/23 ～ 7/26
29	真能寺村絵図など 9 点	個人	地方史料調査実習	8/2 ～ 8/3
30	『飯能市史（資料編Ｘ）産業』など 2 点	美杉台小学校	授業準備	8/8 ～ 8/3

No.	資　　料　　名	利　用　者　名	目　　的	期　間
31	埼玉県飯能町全図	個人	夏休みの宿題	8/12
32	『祭囃子と獅子舞』	個人	調べ学習に使用	8/15
33	小能啓佑家文書翻刻フロッピーディスク 3 点	個人	翻刻図書刊行	8/16 ～ 8/31
34	ビデオ「江戸独楽まわし」など 4 点	飯能コマの会	体験学習の教材	9/1
35	ＣＤ「飯能の底抜け屋台囃子」	東京青梅病院	病院内レクリエーション	8/20 ～ 8/24
36	独鈷石（中橋場遺跡出土）	個人	白川型石斧の研究	8/26
37	「合併祝賀風景」写真プリントなど 10 点	飯能市商店街連盟	印刷物の図案検討	9/2 ～ 10/31
38	「昭和 29 年度町村合併研究会会議録綴」	市企画調整課	市町村合併に関する研究	9/5
39	『飯能市史（資料編Ⅵ）民俗』など 4 点	個人	レポート作成	9/9
40	「杣図絵馬」写真ポジフィルム	戸田市立郷土博物館	特別展図録に掲載	9/10 ～ 9/25
41	「うちおり」展ＰＤＦファイルなど 3 点	加治中学校	教育用コンテンツの開発	9/11 ～ 9/20
42	「矢颪村御帳面目録引渡シ之覚」など２０点	個人	調査研究	9/18
43	『水戸光圀とその周辺』	市生涯学習課	文化財めぐりのちらし作成	9/19 ～ 9/20
44	「天覧山通り工事」ネガなど 4 点	埼玉県立自然史博物館	特別展展示パネルの作成	9/26 ～ 10/9
45	飯能村絵図（複製）	埼玉県立自然史博物館	特別展に展示	9/26 ～ 12/16
46	『飯能昭和史年表』など 3 点	個人	レポートの作成	9/28 ～ 10/5
47	「写真でたどる飯能市の 50 年」展写真パネル 33 点	飯能ケーブルテレビ㈱	番組撮影	9/30 ～ 10/10
48	白木正一画「胡蝶・嵐」など 4 点	富岡市立美術博物館・福沢一郎記念美術館	企画展に展示	12/4 ～ 3/19
49	ビデオ「昭和 29 年 1 月 1 日飯能市市制施行日　飯能市風景」	市秘書室	市制 50 周年記念式典の資料	10/15 ～ 10/28
50	ジョレンなど 10 点	第一小学校	社会科授業の教材	10/17 ～ 10/24
51	『山岡鉄舟』	埼玉グラフ㈱	本への写真掲載	10/23 ～ 11/15
52	「市見世場出入一件」など 2 点	個人	翻刻図書刊行	10/30
53	ビデオ「昭和 29 年 1 月 1 日飯能市市制施行日　飯能市風景」	市秘書室	市制 50 周年記念式典で放映	10/30 ～ 11/7
54	『飯能祭囃子と獅子舞』	個人	研究	11/2
55	ビデオ「日本刀のできるまで　刀匠　小沢寿久」	飯能刀剣会	市文化祭で上映	11/9
56	唐鍬など 5 点	加治東小学校	社会科授業の教材	11/19 ～ 12/3
57	『名栗川金属文化の会月報』	個人	研究	11/22
58	『戦争を語りつぐ　1 集』など 3 点	富士見小学校	社会科授業の教材	11/24 ～ 12/5
59	『国立歴史民俗博物館研究報告　第 22 集』など 3 点	市生涯学習課	調査研究	11/26 ～ 12/19
60	「御用留」	古文書同好会	学習の教材	12/6 ～ 12/20
61	「高麗の里の独楽」展図録写真フィルム 24 点	海老名市広報公聴課	「広報えびな」に掲載	12/10 ～ 1/12
62	「飯能焼梅樹文壺」写真ポジフィルム	㈱エイ・ワークス	『やきものの旅・東日本編』に掲載	12/12 ～ 1/31
63	「市見世場出入一件」など 2 点	郷土史研究会	講演会資料	12/13
64	「飯能織物協同組合決議録」など 40 点	個人	織物史の研究	12/19
65	『中山氏と飯能・高萩』展示図録など 2 点	個人	中山氏の研究	12/20
66	『精明村史稿』	個人	調査研究	1/6
67	『考古学による日本歴史』	個人	レポートの作成	1/8 ～ 1/15
68	矢颪村絵図	市生涯学習課	総合的学習の教材	1/9
69	「市民学芸員小学生対応展示作成風景」カラーネガ	㈱文化新聞社	「文化新聞」に掲載	1/10 ～ 1/26
70	「定書」	個人	市場騒動の研究	1/11
71	縞の長着など 5 点	地域づくり事業委員会	「地域づくり事業の 13 年」展に展示	1/13 ～ 1/27
72	俳句原稿など 30 点	個人	飯能に関係する文化人の研究	1/14
73	『小室家文書目録』	市生涯学習課	文化財指定の資料	1/15 ～ 1/17
74	ビデオ「飯能の文化財Ⅰ」など 19 点	地域づくり事業委員会	「地域づくり事業の 13 年」展に展示	1/16 ～ 1/27
75	『埼玉のまつり』など 3 点	個人	レポートの作成	1/17 ～ 1/20
76	『押絵羽子板』など 2 点	市生涯学習課	レファレンス対応	1/21 ～ 1/28
77	旧精明村役場関係資料 27 点	個人	旧精明村についての調査	1/24
78	「飯能文化萌ゆ」展関係資料など 46 点	個人	『飯能文化』の研究	1/27
79	飯能村絵図（複製）	加治中学校	総合的な学習の資料	1/28
80	「飯能村絵図」ポジフィルム	加治中学校	教材研究	1/28 ～ 2/12
81	旧精明村役場関係資料 27 点	個人	旧精明村についての調査	1/28
82	『南高麗郷土史』	個人	社会科の学習	1/31
83	『飯能郷土史』など 2 点	個人	原稿執筆	2/3

No.	資　料　名	利　用　者　名	目　的	期　間
84	旧精明村役場関係資料 27 点	個人	旧精明村についての調査	2/5
85	『刀剣鑑定読本』	個人	調査研究	2/8
86	「宗門人別書上帳」など 2 点	個人	家系の調査	2/5
87	『絵図で見る小川町』	市生涯学習課	古文書所在確認調査の資料	2/5 ～ 2/7
88	「飯能の刀匠」展図録	個人	刀匠の研究	2/15 ～ 2/22
89	「中山信吉木碑」ネガ 3 点	池上本門寺	『奥絵師狩野家墓所の調査』に掲載	2/17 ～ 3/31
90	ビデオ「飯能地方のうちおり」など 2 点	個人	織物の学習	2/20 ～ 3/6
91	「屋台囃子実演風景」ネガなど 3 点	飯能市郷土芸能保存会	調査研究	2/22 ～ 2/29
92	「明治神宮建設請願書（写）」	個人	調査研究	2/21
93	「飯能文化協会会則」など 23 点	個人	『飯能文化』の研究	2/24
94	「写真でたどる飯能市の 50 年」展未使用写真第 1 分冊	個人	橋の写真資料の研究	2/28 ～ 3/6
95	浅見譲二家文書・中村正夫家文書	個人	地方史料調査実習準備	3/6
96	真能寺村絵図など 13 点	個人	地方史料調査実習	3/13 ～ 3/14
97	飯能村絵図など 9 点	個人	講義・研究	3/17
98	「シンボル展示筏」ポジフィルム	市企画調整課	『いいとこハンドブック』に掲載	3/18 ～ 4/30
99	石臼など 3 点	大河原地区飯能西中ＰＴＡ	きな粉作りの実演	3/28 ～ 3/31
100	「宗門人別書上帳控」など 7 点	個人	調査研究	3/20

平成 16 年度

No.	資　料　名	利　用　者　名	目　的	期　間
1	「川寺堰場一件日記」	郷土史研究会	「郷土はんのう」に掲載	4/6
2	「大河原亀文旅日記」など 15 点	個人	沼田順義の研究	4/15
3	「御用留」	古文書同好会	学習テキスト	4/17
4	「御用廻状写」など 30 点	個人	調査研究	4/17
5	「中藤小学校授業風景」写真プリント	個人	調査研究	4/29
6	「差出シ申一札之事」	市生涯学習課	古文書所在確認調査資料	5/5
7	「済口証文之事」など 2 点	市生涯学習課	総合学習の教材	5/11
8	「萬代御用留　全」など 2 点	個人	調査研究	5/15
9	「卯辰日記」	古文書同好会	学習テキスト	5/18
10	「定点プロジェクト」展ポスター用写真プリント 2 点	サニープレス	「サニープレス」に掲載	5/23 ～ 6/11
11	『名栗川』など 2 点	個人	古代の研究	5/25 ～ 5/27
12	「卯辰日記」など 6 点	個人	調査研究	6/19
13	高麗郡矢颪村絵図など 3 点	市生涯学習課	総合的な学習の教材	6/22
14	「振武軍廻文」（複製）など 2 点	市生涯学習課	総合的な学習の教材	6/24
15	「武州高麗郡矢颪村差出明細帳」など 21 点	市生涯学習課	総合的な学習の教材	6/26
16	「武州高麗郡矢颪村差出明細帳」など 2 点	市生涯学習課	総合的な学習の教材	6/29
17	レコード「飯能音頭」	みんようネットワーク	民踊定席に使用	7/2
18	『府中市郷土の森博物館紀要　15 号』	市生涯学習課	調査研究	7/2
19	「肥料関係書類」など 11 点	個人	調査研究	7/3
20	瓦塔（破片）	個人	調査研究	7/3
21	「卯辰日記」など 2 点	個人	調査研究	7/10
22	「武州高麗郡矢颪村差出明細帳」など 3 点	市生涯学習課	総合学習の教材	7/13
23	飯能村絵図（複製）	羽生市立郷土資料館	特別展「里山の自然」に展示	7/21 ～ 9/20
24	「糞尿関係書類」など 2 点	個人	調査研究	7/19
25	石槍など 7 点	市生涯学習課	埋蔵文化財出土品展で展示	7/27 ～ 8/30
26	「須田家日記」など 3 点	入間市博物館	特別展の調査	7/30
27	『飯能戦争秘話』など 3 点	個人	夏休みの自由研究	8/5 ～ 8/14
28	「岡部均平肖像画」写真プリント	市生涯学習課	「広報はんのう」に掲載	8/10 ～ 9/30
29	『記録資料の管理と文書館』	個人	調査研究	8/10 ～ 9/10
30	『飯能の水とくらし』	個人	夏休みの自由研究	8/11
31	住宅地図（昭和 47 年）	個人	調査研究	8/13
32	「飯能駅」写真プリントなど 3 点	㈱ドキュメンタリー工房	ビデオ『日本の経済・経営発達』に使用	8/18 ～ 8/25
33	「大通りの風景」写真プリントなど 12 点	市秘書室	『市制施行 50 周年記念誌』に掲載	8/20 ～ 8/31

No.	資料名	利用者名	目的	期間
34	『飯能市史（資料編Ⅳ）行政一』など2点	個人	夏休みの自由研究	8/20～8/31
35	『小室家文書目録』	市生涯学習課	文化財講座の準備	8/21～8/24
36	「田方名寄帳」など4点	個人	地方史料調査の準備	8/22
37	中村家絵図など4点	個人	夏休みの自由研究	8/24
38	小槻織物関係資料	個人	湖月縮の研究	8/27
39	『入間市史』など3点	個人	原稿執筆	8/27
40	「水車製材」白黒ネガなど7点	入間市博物館	特別展図録に掲載	8/27～9/26
41	『飯能の水とくらし』	個人	調査研究	8/29～9/1
42	『民具の世相史』	個人	調べ学習で使用	8/31～9/7
43	飯能都市計画図	個人	調べ学習で使用	9/2
44	小槻織物関係資料	個人	湖月縮の研究	9/2
45	『原市場の地名と屋号』	個人	家系の調査	9/3
46	武州高麗郡下川崎村絵図	市生涯学習課	古文書所在確認調査の準備	9/3
47	縄文草創期土器ポジフィルムなど11点	入間市博物館	特別展図録に掲載	9/3～12/7
48	「旧市役所庁舎」写真プリントなど16点	敬愛園	敬老会で展示	9/14～9/22
49	『飯能の石造遺物』	個人	調べ学習で使用	9/12～9/15
50	『飯能市史（資料編Ⅴ）社寺教会』	個人	調べ学習で使用	9/12～9/15
51	『飯能市史（資料編Ⅴ）社寺教会』	個人	調べ学習で使用	9/12～9/14
52	レコード「飯能音頭」	みんようネットワーク	調査研究	9/15～9/25
53	『飯能市史（資料編Ⅴ）社寺教会』	個人	調べ学習で使用	9/15～9/20
54	『飯能市史（資料編Ⅵ）民俗』	個人	レポートの作成	9/16～9/23
55	資料保存台帳No.1など3点	個人	久留里藩の支配について調査	9/19
56	扇風機など7点	飯能第一小学校	社会科授業の教材	9/22～10/1
57	「卯辰日記」	個人	調査研究	9/25
58	『飯能市史通史編』掲載の八高線の写真	日本テレビ	テレビ番組収録	9/29
59	飯能村絵図（複製）	個人	里山・雑木林の研究	9/29
60	『久留里城誌』	個人	調査研究	9/30～10/6
61	洗濯板など5点	飯能第一小学校	社会科授業の教材	10/1～10/8
62	「覧山荘」写真プリントなど2点	個人	調査資料	10/3
63	「長澤小学校校舎」写真プリントなど3点	市秘書室	「広報はんのう」に掲載	10/16～10/22
64	中里伊子家文書No.227など11点	個人	近世神職の調査	10/11
65	電気掃除機（ポット型）など4点	羽生市立郷土資料館	特別展「市制50年の歩み」に展示	10/15～12/10
66	鉄カブトなど13点	個人	社会科授業の教材	10/19～10/23
67	火のしなど5点	双柳小学校	社会科授業の教材	10/16～10/26
68	「卯辰日記」	個人	調査研究	10/23
69	カセットテープ「飯能民謡」など6点	個人	卒業論文の作成	10/27～11/10
70	「鮎漁」白黒ネガなど3点	入間市博物館	特別展「入間川の自然とくらし」に展示	10/30～12/25
71	「卯辰日記」など3点	個人	調査研究	11/3
72	飯能戦争大砲の弾など12点	入間市博物館	特別展「入間川の自然とくらし」に展示	11/5～12/25
73	微隆起線文土器など33点	入間市博物館	特別展「入間川の自然とくらし」に展示	11/5～12/25
74	「卯辰日記」など2点	個人	調査研究	11/6
75	『狭山市史近代資料編』	個人	原稿執筆	11/7～11/14
76	飯能郷土史かるた	個人	調査研究	11/7～11/23
77	下草刈取鑑札など2点	個人	郷土史探訪の資料	11/10～11/16
78	『名栗村資料目録第1集』	市生涯学習課	視察資料の作成	11/12～11/25
79	『飯能市史（資料編Ⅴ）社寺教会』	個人	調べ学習で使用	11/14～11/28
80	『東吾野小学校開校百周年記念誌』	個人	小学校の調査	11/20～11/27
81	「卯辰日記」	個人	調査研究	11/20
82	ツルハシなど6点	飯能第一小学校	社会科授業の教材	11/25～12/3
83	『秩父往還』など2点	個人	白子地区の調査	11/25～12/3
84	『すいものぐさ』	個人	調査研究	11/23～11/27
85	飯能村絵図（複製）など3点	市生涯学習課	学習会の資料	12/7～12/8
86	『中村正夫家文書目録』	個人	卒業論文の作成	11/27～3/31

No.	資　　料　　名	利　用　者　名	目　　的	期　間
87	「明治神宮建設請願書（写）」	個人	原稿執筆	11/30
88	『飯能市史（資料編Ⅴ）社寺教会』	個人	調べ学習で使用	12/1 ～ 12/16
89	『悪惣』など 3 点	個人	武州事件の研究	12/1 ～ 12/7
90	「須田家日記」	個人	調査研究	12/4
91	「入間川」展展示航空写真シート 14 点	入間市博物館	特別展「入間川の自然とくらし」に展示	12/7 ～ 12/28
92	「差上申場所書付之事」	市生涯学習課	文化財講座の資料	12/9
93	ビデオ「飯能の自然と風土」など 4 点	加治中学校	総合学習の教材	12/10 ～ 12/16
94	吾野村全図など 2 点	市生涯学習課	文化財講座の資料	12/11
95	「三箇村桴士連名覚帳」	個人	調査研究	12/12
96	レコード「名栗川筏唄」	個人	調査研究	12/19
97	「郷土館外観」写真プリント	NPO 文化通信ネットワーク	ウェブサイトに掲載	12/22 ～ 1/15
98	「村入用立替覚帳」など 2 点	個人	赤沢村の調査	12/25
99	『新編武蔵風土記稿　第九巻』	武蔵台自治会	『武蔵台だより』に掲載	1/6
100	『近世農民生活史』など 6 点	市生涯学習課	「観光マップ」の作成資料	1/8 ～ 1/15
101	「精明村会会議録」など 5 点	個人	郷土研究	1/8
102	火消し壺など 4 点	美杉台小学校	社会科授業の教材	1/13 ～ 1/27
103	「恭以口上書奉御箱訴候」など 3 点	個人	調査研究	1/15
104	瓦塔（破片）	下宅部遺跡調査団	調査研究	1/20 ～ 3/31
105	『青梅市史資料集第 23 号』	個人	宝暦箱訴の調査	1/23 ～ 1/31
106	「軍荼利明王立像」写真プリントなど 2 点	㈱学習研究社	『不動明王』に掲載	1/8 ～ 3/30
107	「小槻織物工場」写真	入間市商工課	ビデオに使用	
108	「飯能町大通り」写真プリントなど 3 点	市環境緑水課	エコツーリズムの資料	1/28 ～ 2/19
109	中村正夫家文書史料カード	個人	文書目録の作成	1/28 ～ 3/31
110	「柏林寺木造十一面観音立像」写真プリントなど 4 点	市生涯学習課	「文化財時報」に掲載	1/28 ～ 3/31
111	田中かく宛書状など 15 点	個人	田中かくの調査	1/30
112	『近世武州名栗村の構造』など 2 点	個人	原稿執筆	2/2 ～ 2/9
113	CD-R「立体模型ができるまで」	飯能高校	総合学習で使用	2/4
114	「卯辰日記」	古文書同好会	学習テキスト	2/5
115	「板貫仕切帳」など 9 点	個人	調査研究	2/5
116	『武州世直し一揆史料』など 2 点	個人	原稿執筆	2/9 ～ 2/19
117	荻野吟子書状など 3 点	個人	田中かくの調査	2/13
118	「天覧山より市街地を望む」写真プリントなど 2 点	市環境緑水課	エコツーリズムの資料	2/17 ～ 2/18
119	「飯能織物協同組合報告書綴」など 18 点	個人	調査研究	2/18
120	「卯辰日記」など 2 点	個人	教材の選定	2/19
121	『新編武蔵風土記稿　第十二巻』など 2 点	個人	原稿執筆	2/22 ～ 3/3
122	「送券」など 21 点	市生涯学習課	古文書所在確認調査の準備	2/22
123	「飯能織物同業組合大島部会会議録」など 18 点	個人	調査研究	2/23
124	「送券」など 21 点	市生涯学習課	古文書所在確認調査の準備	2/23
125	「地租入費受取帳」など 16 点	市生涯学習課	古文書所在確認調査の準備	2/24
126	「町村会議員選挙の心得」など 2 点	市生涯学習課	古文書所在確認調査の準備	2/25
127	「卯辰日記」など 5 点	古文書同好会	学習テキスト	2/26
128	「振武軍廻文」写真プリント	㈱地平線	『歴史の山をあるく』に掲載	2/28 ～ 3/20
129	「飯能織物同業組合大島部会会議録」など 13 点	個人	調査研究	3/2
130	「大正１２年度事業報告帳（中山青年団）」など 52 点	市生涯学習課	古文書所在確認調査の準備	3/3
131	法光寺文書写真アルバム	市生涯学習課	古文書所在確認調査の準備	3/3 ～ 3/4
132	「卯辰日記」など 2 点	個人	調査研究	3/5
133	「飯能織物同業組合綴」など 9 点	個人	調査研究	3/8
134	若葉縮見本	個人	湖月縮の研究	3/8 ～ 3/17
135	「乍恐書付御届奉申上候」など 47 点	市生涯学習課	古文書所在確認調査の準備	3/9
136	ビデオ「山川から千住までを唄う」	（N）野外調査研究所	筏流しの研究	3/13 ～ 3/27
137	「卯辰日記」など 2 点	古文書同好会	学習テキスト	3/19
138	「御荷物之通」	個人	西川林業の調査	3/20
139	『昭和史』など 2 点	個人	郷土研究	3/26 ～ 4/5
140	「観音寺」写真プリントなど 16 点	個人	印刷物に掲載	3/30 ～ 4/5

(2) 施設の利用

飯能市郷土館条例施行規則第４条では、教育、学術及び地域文化の振興を目的とする個人又は団体が、特別展示室、学習研修室及び図書室を郷土館の目的にそった研究会、展示会等に利用できるとしている。

①特別展示室

特別展示室の利用に関しては
（1）営利を目的とする利用はできない。
（2）個展としての利用はできない。(ただし飯能の歴史や文化風土に関するものの場合は除く）
（3）開始４ヶ月前までに申込をしてもらいそれを郷土館協議会で審議して利用を決定する。
という条件が郷土館協議会で決められているが、平成 14 年度から 16 年度にかけての利用はなかった。

②学習研修室

学習研修室は、当館の主催事業のほか、飯能の歴史や地域文化の振興に関わる学習活動を行っている団体、サークルに利用されている。その他、団体での見学者や市内の小学生の見学、他の市町村からの視察の対応などにも使用されている。

平成 14 年度～ 16 年度学習研修室利用実績

年度	利用日数	恒常的活動（サークル）			見学など		事業など（件数）		合計（年間）		年間入館者数にしめる割合
		団体数	件数	人数	件数	人数	館主催	その他	件数	人数	
14	107	8	56	778	18	1,017	46	10	130	1,795	6.0%
15	98	7	66	933	11	617	33	10	120	1,550	5.4%
16	109	7	66	866	12	683	29	31	138	1,549	5.5%

〈凡例〉
・合計の件数は、「恒常的活動」、「見学など」、「事業など」の件数を合計したもの
・合計の人数は、「恒常的活動」、「見学など」の人数を合計したもの

◎主な活動団体

古文書同好会・古文書勉強会・飯能郷土史研究会・多聞の会・石仏談話会・ずい筆の会・飯能市郷土館友の会・みんようネットワーク飯能・飯能市郷土芸能保存会・染料植物研究会

◎平成 16 年度末現在で活動している学習サークル

古文書同好会
設　立　平成３(1991) 年４月
目　的　飯能市内の古文書の解読と時代背景の研究及びその活字化。
代表者　新井　秀穂
会員数　１３人
活　動　毎月第１・３土曜日

古文書勉強会
設　立　平成 14(2002) 年７月
目　的　飯能市内の古文書の解読をとおして歴史を知る。
代表者　古玉　和男
会員数　１１人
活　動　毎月第１・３土曜日

多聞の会 (仏教美術学習会)
設　立　平成６(1994) 年１１月
目　的　仏像・仏画・仏教建築など広く仏教及び仏教美術についての学習。
代表者　綾部　光芳
会員数　30 人
活　動　８月を除く毎月第３木曜日に例会 (うち見学会３回）

石仏談話会
設　立　平成７(1995) 年１月
目　的　石仏を通してその時代背景や歴史、文化を学ぶ。
代表者　森田　道男
会員数　20 人
活　動　第１土曜日に活動（奇数月が学習会、偶数月は見学会）

飯能郷土史研究会
設　立　昭和 48(1973) 年７月
目　的　郷土の歴史を研究し、市民文化の進展に寄与する。
代表者　坂口　和子
会員数　78 人
活　動　年６回の例会

染料植物研究会
設　立　昭和 55(1980) 年６月
目　的　野山 (庭) の草木、季節の植物で染めて、自由に製作する。(当館西側の空き地に野草を栽培)
代表者　岩橋　みつ
会員数　16 人
活　動　不定期

みんようネットワーク飯能
設　立　平成８年 (1996) 年
目　的　民踊をとおして心身の健康を高めるとともに、見聞を広め、郷土の文化を継承する。
代表者　石井　英子
会員数　70 人
活　動　不定期

平成８年度から 17 年度までの 10 年間を対象とした「第三次飯能市総合振興計画」の中で、「まちづくりの基本理念」のひとつとして、「市民参加の確立と連帯の原則」が掲げられている。近年、市民との連携や協働の必要性はますます高まり、博物館でもそのための取組みが多く見られるようになった。

こうした流れの中で、当館でも市民との「交流」活動を重視してきている。当館と市民との双方向性の情報交換と交流を目的とするこの活動は、郷土館において展開されている市民参加型事業ということができる。

定点撮影プロジェクト

1. 定点撮影プロジェクトの概要

①定点撮影プロジェクトのはじまり

定点撮影プロジェクトの始まりは平成 10 年である。この年に開催した特別展「時の記憶－飯能の写真展－」では、市民に呼びかけて提供してもらった古写真２２１点を年代順に展示し、歴史の流れが現在につながっていることを意識してもらった。この写真展を通して写真が時代を記録する有効な手段であることを再認識することができた。そこで関連事業として、市民自らが「今」の時代を写真として記録し後世に残していく主体者となってもらうことを目的として定点撮影プロジェクトを開始した。

②定点撮影プロジェクトの目標

プロジェクトの参加者が撮影した写真は郷土館の歴史資料として蓄積されていくことになるが、これを通して、参加者が歴史をより深く認識し、歴史の意味を考えるようになることを最終的な目標としている。このため誰もが気軽に参加でき、参加者が郷土館とともに主体的に考え、継続して実施していくことを活動方針として掲げた。

③定点撮影プロジェクトの活動

毎年、年度当初にその年の活動方針について打合せを行う。撮影は地点撮影とテーマ別撮影の２種類がある。

地点撮影は通り・駅前・交差点など昔から写真に撮られているところや変化の激しいところを定期的に撮影するもの、テーマ別撮影は日常的な生活を写真で残すために毎年参加者で設定したテーマに沿った撮影をおこなうものである。

撮影した写真は撮影者がフィルム台帳に内容を記録するとともに、地点撮影の場合には撮影場所、撮影目標、撮影の際の注意点などをまとめた「撮影地点カード」を作成している。地点撮影もテーマ別撮影も日常生活している人でないと本来の生活の様子は撮影できないものであり、この６年間で蓄積した写真は地域の変化を示す良好な資料として郷土館に蓄積された。

また、撮影した写真は、その年度中に郷土館などで展示する。現在までに６回の展示会を開催している。展示作業や写真の解説文の執筆などはプロジェクト参加者が主体的におこなっており、現在では当館職員がそれをサポートする程度で完成するまでに至っている。この展示は、他の市民に対しても写真記録の必要性を伝え身近な歴史を考えるきっかけを与えている。

2. 活動概要

平成 14 年度

４月 27 日～５月 31 日の間に地点撮影とテーマ撮影を実施した。テーマ撮影の内容は、「案外知られていない飯能の隠れた歴史」とし、身近にありながら意外と人に知られていない地域の隠れた歴史を参加者自らが探し出して撮影することとした。これらの成果は「身辺奥武蔵写真風土記」として展示した。

平成 15 年度

当年度はこれまで撮影してきた写真の整理作業を中心としておこなった。整理作業の内容は写真台帳や地点撮影カードの整備、撮影地点を地図におとすことでその見直しをすることなどである。地点撮影の撮影時期は特に設けず、変化したところを中心にそれぞれの担当者が適当な時期におこなうこととし、テーマ別撮影についても内容は設定しなかった。例年実施してきた写真展は開催せず、この年に実施した特別展「写真でたどる飯能市の 50 年」に協力する活動に替えた。



展示準備風景

平成 16 年度

4 月 1 日～5 月 15 日の間に地点撮影を実施した。さらに、前年度の整理成果をふまえ、各地区での地点撮影の成果を紹介するための展示を開催した。また、平成 17 年 1 月 1 日には名栗村が飯能市と合併することから、合併前の名栗村の様子を写真に記録するために 11 月 23 日に名栗撮影会を実施した。

3. 打合せ・作業の記録

平成 14 年度

4 月 27 日（土）打合会
内　容：テーマ別撮影の内容、展示の内容・準備等についての打合せ
参加者：12 人

5 月 19 日（日）展示打合会
内　容：これまで撮影したものから展示候補写真の選定作業、展示構成の検討
参加者：14 人

6 月 16 日（日）展示打合会
内　容：今年度撮影したものから展示候補写真の選定作業、展示構成の決定
参加者：13 人

6 月 22 日（土）展示準備会
内　容：パネル作成および展示作業
参加者：10 人

8 月 4 日（日）展示準備会
内　容：自治文化センター展示作業

3 月 30 日（日）打合会
内　容：次年度の活動について、写真の整理方法について打合せ
参加者：11 人

平成 15 年度

4 月 27 日（日）整理作業
内　容：フィルム台帳、撮影地点カード等の整備
参加者：13 人

5 月 25 日（日）打合会・整理作業
内　容：特別展「写真でたどる飯能市の 50 年」の説明、フィルム台帳、撮影地点カード等の整備
参加者：9 人

6 月 22 日（日）打合会
内　容：特別展「写真でたどる飯能市の 50 年」の構成内容検討
参加者：9 人

7 月 27 日（日）整理作業
内　容：撮影地点を地図に記入する作業
参加者：7 人

8 月 24 日（日）整理作業
内　容：撮影地点を地図に記入し終え、未撮影地域の対処について検討する
参加者：4 人

2 月 28 日（土）打合会
内　容：次年度の展示の構想検討、次年度の活動について打合せ
参加者：11 人

平成 16 年度

5 月 23 日（日）展示準備会
内　容：展示写真の選定
参加者：11 人

5 月 29 日（土）展示準備会
内　容：解説文の入力、写真のパネル貼り
参加者：6 人

6 月 5 日（土）展示準備会
内　容：解説文の入力、写真のパネル貼り
参加者：6 人

6 月 6 日（日）展示準備会
内　容：展示配置の検討、解説文の入力、写真のパネル貼り
参加者：6 人

6 月 12 日（土）展示準備会
内　容：展示設営
参加者：6 人

7 月 18 日（日）　打合せ会
内　容：展示の反省、市役所ロビーに展示する写真の選定
参加者：8 人

11 月 23 日（火）撮影会
内　容：名栗村の合併前の写真撮影
参加者：7 人

3 月 21 日（月）打合せ会
内　容：次年度の定点撮影及び展示構成・準備予定等について打合せ
参加者：5 人

4. 定点撮影プロジェクト写真展

平成 14 年度
「身辺奥武蔵写真風土記」

期　　間　平成 14 年 6 月 23 日（日）～ 7 月 21 日（日）
開館日数　25 日間
入館者数　2,211 人（1 日平均 88.4 人）
展示点数　173 点

開催趣旨

定点撮影プロジェクト活動 5 周年を記念し、これまでの活動成果を一堂に展示すると同時に、江戸時代後期に編まれた地誌「新編武蔵風土記稿」との比較から、現代の記録を写真で残すことの重要性を写真で訴え、活動を広く紹介することを目的とする。

展示構成

1. 残された記録－「新編武蔵風土記稿」と定点撮影プロジェクト－
2. 街の移り変わり—地点撮影 5 年間の成果—
3. 平成人のくらし—テーマ別撮影の成果—
4. 身辺奥武蔵写真風土記 - テーマ別撮影 2002-
5. 郷土館と覧山荘

その他

展示の一部は、8 月 4 日（日）～ 10 月 13 日 (日) の期間、自治文化センター（まるひろ百貨店東飯能店 8 階）にて展示した。

平成 16 年度
「写真で記録する街のうつりかわり」

期　　間　平成 16 年 6 月 13 日（日）～ 7 月 19 日（月）
開館日数　32 日間
入館者数　2,762 人（1 日平均 86.3 人）
展示点数　74 地点　写真 94 枚

開催趣旨

これまでの定点撮影プロジェクト展は、テーマ別撮影の成果の紹介が主であったため、定点撮影地点を広く網羅した展示ではなかった。このため、今回は、主な定点撮影地点を紹介することを主眼におき、展示を構成する。このことにより、これまでの活動成果を伝えるとともに、定点撮影の意義、必要性を知ってもらうことを目的とする。

展示の構成

「飯能・精明・加治地区」「南高麗地区」「原市場地区」「吾野・東吾野地区」に分け、各地区の代表的な地点の写真を展示した。写真の選定は、各撮影者がおこない、解説文も撮影者が執筆した。変化の著しい地点は数枚展示した。

その他

展示の一部は 8 月 2 日（月）～ 8 月 10 日（火）の期間、飯能市役所ロビーでも展示した。



平成 14 年度展示風景



平成 16 年度展示風景

市民学芸員

1. 概　要

「市民学芸員」制度は、当館が行う活動に、生涯学習の一環として参加し、郷土館の事業の一部を体験学習しながら協力し、郷土館の事業に多くの市民がかかわることを通じて、誰もが身近に感じられ親しみをもてる郷土館の運営を図ることを目的として開始された事業である。第１期の市民学芸員は平成 12 年１月から博物館学の講義と実習を受け、平成 12 年の特別展「飯能戦後のくらし」の一部の展示を企画、設営するまでに至り、終了証を交付した。

その後平成１３年２月からは第２期として「博学連携」を担う市民学芸員の養成を始め、第１期と同様の講習を受けた後に、市内小学校の３年生社会科見学対応の実務研修をおこなった。現在はこの第２期市民学芸員が中心となり、さらなる研修を重ね、毎年、小学３年生社会科見学対応を中心に従事し、児童、教師から高い評価を得ている。さらに平成 16 年２月からは、林業の道具調査に従事することも目的としてあらたに募集した市民学芸員も加え、活動を展開している。

2. 活動の概要

平成 14 年度

市民学芸員のさらなる資質向上を目的とした講座をおこなうとともに、博学連携事業に従事し、教育普及担当としてより充実した活動をめざすこととした。特に小学３年生社会科見学対応については、説明内容の工夫、ワークシートの作成、昔の民家風の空間での体験学習の実施など様々な改良を重ねた。

平成 15 年度

市民学芸員の研修は特別展に係る歴史講座の受講とした。小学３年生の社会科見学対応については、体験用の石臼台の作成、展示解説の内容の変更などの改良を加えた。また、２月からはあらたに募集した林業調査に従事する市民学芸員も加わり、調査に関する研修を実施した。

平成 16 年度

例年の事業となっている小学３年生見学対応に加えて、昨年度から開始している林業調査についても引き続き準備を行った。小学３年生見学対応については、「民家の台所」の展示資料の充実や、これまで各担当で分かれていたワークシートを合冊化するなどの改善を図った。林業調査では、資料実測や聞き取りの実習の後、聞き取り調査を開始した。

この他に、小学校の総合的な学習の時間や、あけぼの子どもの森公園で行われた昔あそびのイベントでの指導など、活動の場を広げた。

平成 14 年度活動一覧

回	月日	曜日	時間	テ　ー　マ	講　師（担当）	内　容	参加人数
1	5/12	日	14:00	オリエンテーション	当館職員		21
2	5/26	日	13:30	小学３年生見学対応準備①	当館職員	各グループごとに課題を設定	16
3	6/9	日	10:00	飯能史概説①「縄文時代」	生涯学習課文化財係　村上達哉　氏	発掘調査の成果からわかる飯能市域の縄文時代についての講義	15
4	6/30	日	10:00	見学会①〈大通りの商家等見学〉	生涯学習課文化財係　熊沢孝之　氏	『飯能の民家』の報告書を元に大通り等の古い商家等の見学	19
5	7/13	土	13:30	飯能史概説②「奈良・平安時代」	生涯学習課文化財係　富元久美子　氏	発掘調査の成果からわかる飯能市域の古代についての講義	20
6	7/23	火	13:30	飯能史概説③「中世」	尾崎泰弘（当館学芸員）	飯能市とその周辺地域の中世についての講義	21
7	8/25	日	13:30	飯能史概説④「近世」	飯能市教育センター所長　浅見徳男　氏	飯能市域の近世についての講義	17
8	9/5	木	10:10	見学会②〈屋渕遺跡発掘調査現場見学〉	生涯学習課文化財係　村上達哉　氏	発掘調査現場の見学	12
9	9/12	木	8:30	見学会③〈富士見市立難波田城資料館・水子貝塚資料館見学〉	富士見市立難波田城資料館	資料館・城跡等の見学、富士見市で取り組んでいる市民学芸員制度の研修、交流。	18
10	9/29	日	13:30	飯能史概説⑤「近現代」	飯能市教育センター所長　浅見 徳男　氏	飯能市域の近現代についての講義	16
11	10/12	土	13:30	小学３年生見学対応準備②	当館職員		19
12	10/30	水	13:30	飯能史概説⑥（テーマ史）	有馬雅彦（当館学芸員）	特別展「うちおり」の展示解説	18
13	11/14	木	13:30	小学３年生見学対応準備③	当館職員		19
14	11/26	火	13:30	小学３年生見学対応準備④	当館職員		16
15	12/13	金	13:30	小学３年生見学対応準備⑤	当館職員		15
16	12/18	水	13:30	小学３年生見学対応準備⑥	当館職員		15
17	2/22	土	13:30	小学３年生見学対応反省会	当館職員	小学３年生見学の反省及び来年度への課題のまとめ	13
18	3/2	日	13:30	特別講演「情報と地域博物館－歴史と文化を豊かにするために－」	駿河台大学助教授　保坂裕興　氏	先進の博物館学の成果についての講義	15

平成 15 年度活動一覧

回	月日	曜日	時間	テ　ー　マ	講　師（担当）	内　容	参加人数
1	6/29	日	14:00	活動打合せ会	柳戸信吾（当館学芸員）	年間活動方針の検討	16
2	7/26	土	13:30	「写真でたどる飯能市の 50 年」解説、小学 3 年生見学対応準備①	柳戸信吾（当館学芸員）	年間活動方針の決定、「写真でたどる飯能市の 50 年」解説、小学 3 年生学習対応準備（グループごとに方針検討）	16
3	9/20	土	13:30	歴史講座①「飯能での中山氏について（講話編）」	飯能市文化財保護審議会委員　浅見徳男　氏		
4	9/26	土	13:30	小学生見学対応打合せ（第一小学校）	当館職員	11 月 11・12 日の第一小学校の見学対応準備・打合せ	14
5	10/18	土	13:30	歴史講座②「飯能での中山氏について（見学編）」	飯能市文化財保護審議会委員　浅見徳男　氏		
6	11/6	木	13:30	小学 3 年生見学対応準備②	当館職員		10
7	11/14	金	13:30	講演会「森羅万象すべてが面白い - しんらばんしょう博物館」	INAX ギャラリー部門チーフディレクター　入澤ユカ氏	埼玉県博物館連絡協議会西部地域会議主催講演会への参加	10
8	11/15	土	13:30	歴史講座③「松岡のお殿様、中山氏について」	高萩市郷土史研究会　佐川春久　氏		
9	11/21	金	13:30	小学 3 年生見学対応準備③	当館職員		8
10	11/29	土	13:30	歴史講座④「源平の内乱と武蔵の武士たち」	京都女子大学教授　野口実　氏		
11	12/9	火	13:30	小学 3 年生見学対応準備④	当館職員		16
12	12/18	木	13:30	小学 3 年生見学対応準備⑤	当館職員		13
13	2/1	日	13:30	市民学芸員林業調査についてのガイダンス	有馬雅彦（当館学芸員）	新規募集者対象のガイダンス	5
14	2/15	日	13:30	市民学芸員について	有馬雅彦（当館学芸員）	新規募集者対象のガイダンス講義	3
15	2/25	水	13:30	小学 3 年生見学対応反省会	当館職員	小学 3 年生見学の反省及び来年度への課題のまとめ	9
16	3/6	土	13:30	林業調査の方法について①（講習会）	埼玉民俗の会会長　小林茂　氏	林業の道具の調査方法についての講義	16
17	3/21	日	13:30	林業調査の方法について②（講習会）	埼玉民俗の会会長　小林茂　氏	林業の道具の調査方法についての講義	14

平成 16 年度活動一覧

回	月日	曜日	時間	テ　ー　マ	講　師（担当）	内　容	参加人数
1	6/13	日	13:30	林業調査内容説明・資料実測実習	埼玉民俗の会会長　小林茂　氏	林業の道具の実測実習	13
2	6/27	日	13:30	林業調査聞き取り実習	埼玉民俗の会会長　小林茂　氏	林業の道具に関する聞き取り実習	9
3	7/11	日	13:30	林業調査打ち合わせ	有馬雅彦（当館学芸員）	林業調査に関する聞き取り・資料収集・実測・写真撮影などのグループ分けと日程の打ち合わせ	8
4	9/16	木	10:00	小学 3 年生見学対応準備①	当館職員	平成 16 年度の小学年生見学対応・9 月 28 日の飯能第一小学校見学対応打ち合わせ	7
5	9/22	水	13:30	飯能第一小学校見学対応打ち合わせ	当館職員	飯能第一小学校見学対応の準備・打ち合わせ	10
6	11/17	水	13:30	小学 3 年生見学対応準備②・林業調査説明	当館職員	小学生見学対応の改善事項について検討・林業調査実施予定について説明	11
7	11/25	木	9:00	飯能第一小学校総合的な学習の時間対応①	当館職員	飯能第一小学校 4 年生の総合的な学習の時間対応（使ってみたい資料の検討）	2
8	11/30	火	13:30	小学 3 年生見学対応準備③	当館職員	常設展示説明内容の検討	3
9	12/1	水	14:00	林業聞き取り調査①	有馬雅彦（当館学芸員）	吾野の大西氏・森下氏の聞き取り調査を実施	3
10	12/9	木	9:45	飯能第一小学校総合的な学習の時間対応②	当館職員	飯能第一小学校 4 年生の総合的な学習の時間対応（資料を実際に使用する）	3
11	12/17	金	9:00	小学 3 年生見学対応準備④	当館職員	「民家の台所」設営等	4
12	12/22	水	13:30	小学 3 年生見学対応準備⑤	当館職員	小学 3 年生見学対応の最終確認	12
13	1/23	日	13:30	あけぼのファミリーレクリエーション～昔あそび～指導	島崎淳子（当館職員）	あけぼの子どもの森公園で行われた「あけぼのファミリーレクリエーション～昔あそび～」の指導者として福笑い・めんこなどを教えた。	9
14	2/25	金	13:30	小学 3 年生見学対応反省会	当館職員	平成 16 年度の小学 3 年生見学対応の反省と来年度改善点のまとめ	7
15	3/26	土	14:00	林業聞き取り調査②	有馬雅彦（当館学芸員）	赤沢の森氏の聞き取り調査を実施	2

友　の　会

飯能市郷土館友の会は郷土館の活動を後援し、また展示、収蔵資料を通して知識を培うことを目的とする団体で、平成２年４月１日に発足した。年会費は 500 円で会員数は平成 16 年度末現在約 350 名になる。会員には、郷土館から特別展等事業の案内が送られる。

友の会主催の事業として、毎年７月３日に一絃琴献奏の会を、１月にまゆだまづくりを実施している。

一絃琴献奏の会

飯能市中山の智観寺には、中山家の累代墓所がある。その中山氏１０代信敬公は文武両道に優れ、中でも「一絃琴」の名手といわれている。毎年、信敬公の命日７月３日に智観寺に集い、中山氏の遺徳を偲びつつ、高橋通氏の一絃琴を献奏している。

平成 14 年度

日　　時　平成１４年７月３日（水）
　　午後２時～４時 30 分
参加人数　５８人
演 奏 者　高橋　通　氏

平成１５年度

日　　時　平成１５年７月３日（木）
　　午後２時～４時 30 分
参加人数　４９人
演 奏 者　高橋　通　氏

平成１６年度

日　　時　平成１６年７月３日（土）
　　午後２時～４時 30 分
参加人数　７５人
演 奏 者　高橋　通　氏

まゆ玉づくり

小正月には「まゆ」の増収を祈って団子を作り、つげの木などの小枝にさして飾る行事があり、かつてはどこの家でもおこなっていた。このときに作った団子を「まゆ玉」と呼ぶ。

最近ではおこなわれなくなったこの行事を見直すため、「まゆ玉」を作り、小枝にさして飾る学習会を開催している。

平成１４年度

日　時　平成 15 年１月１２日（日）
　　午後１時 30 分～３時 30 分
会　場　当館学習研修室
参加者　３１人
指導者　内沼須美　氏

平成 15 年度

日　時　平成１６年１月１１日（日）
　　午後１時 30 分～３時 30 分
会　場　当館学習研修室
参加者　３２人
指導者　内沼須美　氏

平成１６年度

日　時　平成１７年１月１６日（日）
　　午後１時 30 分～３時 30 分
会　場　当館学習研修室
参加者　４７人
指導者　内沼須美　氏



まゆ玉づくり

博物館と学校教育との連携は、学校での「総合的な学習の時間」の導入や「地域学習」の重視から、近年多くの博物館で取り組むようになってきた。当館では、小学生の見学対応、小中学生社会科研究展、出張授業、中学生職場体験の受け入れなどを主にすすめている。このほか、学校への資料の貸出、地域学習の一環として児童・生徒がグループ単位で郷土館を利用することなども増えてきた。

小学３年生見学対応

市内の小学３年生が「昔の人々とくらし」の単元で地域学習をする中で、例年１月から２月にかけて郷土館を見学している。当館では、毎年９月ごろに市内小学校の希望を確認し、11 月には担当の先生と打合せをし、見学内容を決めている。本来ならは学校と協力して先生の希望に沿ったプログラムを開発したり、チームティーチングをするのが望ましいが、実際には当館で用意した３つのプログラムを実施する学校がほとんどである。また、交通の便が悪い等で来館できない場合には、同様の内容の出張授業も実施している。

プログラムの内容の検討、準備、当日の説明や指導は市民学芸員が中心におこなっており、毎年改善を重ねてきている。プログラムの内容と改善点は次のとおりである。

①常設展示見学

平成 14 年度は地形模型、飯能のまち、長光寺雲版（国指定重要文化財）、西川材の４つのテーマについて説明した。この内容は前年度と同じだが、新たにワークシートを作成し、それを元に説明することとした。その後、テーマが多すぎて十分な説明ができないとの反省から、平成 15 年度は３テーマ、平成 16 年度は２テーマに減らした。

なお、ワークシートは他のプログラムでも作っていたが、個々に配布すると途中で落とす児童もでてきたため、平成 16 年度からはすべてのプログラムを１冊にまとめた学習ノートを作成した。

②昔の道具さがし

これまでは、昔の道具十数点を観察してその用途を考える「民具クイズ」であったが、平成 14 年度からは、約 20 点の民具を観察したり触れたりして、その中から「洗濯」、「炊事」、「学校生活」、「暖房・照明」に使う道具をさがす形に変更した。最後にパネルを使って道具の使い方を説明することとした。

③体験学習

石臼と火のしの体験を中心におこない、そのほか、要望に応じて、たらいと洗濯板による洗濯体験もおこなっている。

石臼体験では、平成 14 年度からは米だけでなく大豆を挽くこととし、できあがった黄粉を試食できるようにした。また、平成 15 年度には子どもの背丈に合う低めの石臼台を作成した。

火のしの体験は、これまで机の上で実施していたが、雰囲気を出すために平成 14 年度からは、特別展示室の一角に民家の一部を再現した展示をおこない、そこで体験することとした。この展示は「むかしのくらしと道具」と題したミニ展示に位置付け、毎年少しずつ改善を加えている。（詳細は 36 ～ 39 ﾍﾟｰｼﾞ参照）

平成 14 年度小学 3 年生見学対応内容一覧

No.	実施日	小学校名	学級数	人数	時間（分）	内容			対応市民学芸員数	備考
						常設展示見学	昔の道具さがし	体験学習		
1	10/30・31	飯能第一	4	127	90 分×４回	○	○	○＊	のべ 24	小学４年生対象。昔の道具探しの代わりに「民具に触れる」を実施。
2	1/9（木）	富士見	3	102	90	○	○	○	10	
3	1/16（木）	美杉台	3	112	120	○	○	○	14	
4	1/21（火）	原市場	3	105	120	○	○	○	12	
5	1/22（水）	東吾野	1	9	120	○	○	○	13	
6	1/24（金）	南高麗	1	19	90	○	○	○	11	
7	1/28（火）	飯能第二	1	22	80		○	○	10	
8	1/30（木）	精明	2	47	80		○	○	10	出張授業。
9	2/4（火）	加治東	2	67	75	○	○	○	11	
10	2/7（金）	加治	3	105	120	○	○	○	10	
11	2/25（火）	双柳	2	77	100		○	○＊	-	出張授業。当館職員で対応。

合計人数　792 人

※体験学習のうち、飯能第一小学校は火のし・洗濯・石臼を実施、双柳小学校は火のし・洗濯を実施。他は火のしと石臼を実施。

平成 15 年度小学 3 年生見学対応内容一覧

No.	実施日	小学校名	学級数	人数	時間（分）	内容			対応市民学芸員数	備考
						常設展示見学	昔の道具さがし	体験学習		
1	11/11・12	飯能第一	4	129	145 分× 2 回	○	○	○	のべ 19	小学 4 年生対象。昔の道具さがしの代わりに「民具に触れる」を実施。
2	1/20（火）	原市場	4	123	120	○	○	○	11	
3	1/22（木）	富士見	3	92	120	○	○	○	10	
4	1/23（金）	南高麗	1	21	90	○	○	○	11	
5	1/27（火）	精明	2	45	105		○	○	8	出張授業。
6	1/28（水）	双柳	2	68	120	○	○	○	10	
7	1/29（木）	美杉台	3	110	135	○	○	○	11	
8	1/30（金）	東吾野	1	10	90	○		○	7	
9	2/4（水）	加治東	2	71	90	○	○	○	12	
10	2/6（金）	加治	3	98	120	○	○	○	9	

合計人数　767 人

※体験学習はすべて、火のし・石臼を実施

平成 16 年度小学 3 年生見学対応内容一覧

No.	実施日	小学校名	学級数	人数	時間（分）	内容			対応市民学芸員数	備考
						常設展示見学	昔の道具さがし	体験学習		
1	9/28（火）	飯能第一	4	144	90 分× 2 回	○	○	○	9	小学 4 年生対象。 2 クラスずつ 2 回実施
2	1/18（火）	精明	1	35	100		○	○	8	出張授業。
3	1/19（水）	富士見	3	104	120	○	○	○	8	
4	1/21（金）	原市場	3	105	150	○	○	○	8	
5	1/26（水）	飯能第二	1	17	75		○	○	5	
6	1/27（木）	南高麗	1	17	110	○	○	○	7	
7	2/1（火）	美杉台	3	100	145	○	○	○	11	
8	2/2（水）	加治東	2	57	105	○	○	○	10	
9	2/3（木）	双柳	2	49	150	○	○	○	9	
10	2/4（金）	加治	3	106	150	○	○	○	9	

合計人数　734 人

※体験学習はすべて、火のし・石臼を実施



火のし体験



昔の道具さがし

小中学生社会科研究展

1. 趣　旨

郷土館は社会教育施設であるが、学校教育と連携して教育の振興を担う一面を持っている。学校教育においては近年、特に主体的に学習する能力の育成がさけばれている。そうした中で夏期休業中は比較的時間に余裕があるので、市内の小中学校では、自由研究を課すところが多い。

理科や技術家庭、美術科においては作品が県展、全国展へ出品される機会が設けられているが、社会科においては同様の機会がない現状である。しかし、児童生徒の地域研究の意欲は強く、研究の質も高いと言える。このような作品を公共の場で広く市民に公開し、評価していただく場を設けることは教育的効果が期待できる。

この展示は平成 10 年度に「中学生社会科研究展」として開始し、平成 13 年度より対象を小学生まで広げて行い、平成 16 年度で 7 回目となっている。

郷土の歴史を始め、産業、祭り、名物、建物、暮らしの様子など多種多様な研究が発表されているが、飯能の環境や自然についての研究など、社会科ならではの研究も多数ある。また、県内や外国に目を向けた研究もあり、単に郷土のものだけでない発表の機会ともしている。

この展示事業は、市内小中学校社会科主任会との共催である。

2. 期　間

〔平成 14 年度〕
小学生　9 月 10 日（火）～ 18 日（水）
中学生　9 月 19 日（木）～ 25 日（水）
〔平成 15 年度〕
小学生　9 月 10 日（水）～ 17 日（水）
中学生　9 月 18 日（木）～ 25 日（木）
〔平成 16 年度〕
小学生　9 月 8 日（水）～ 9 月 15 日（水）
中学生　9 月 16 日（木）～ 9 月 23 日（木）

3. 展示点数

〔平成 14 年度〕	小学生	４０点	（４１人）
	中学生	６７点	（１１０人）
〔平成 15 年度〕	小学生	５０点	（５０人）
	中学生	１６０点	（１７２人）
〔平成 16 年度〕	小学生	６７点	（６９人）
	中学生	１３４点	（１３９人）

4. 入館者数

〔平成 14 年度〕1,337 人（1 日平均　98.3 人）
〔平成 15 年度〕1,126 人（1 日平均　86.6 人）
〔平成 16 年度〕1,568 人（1 日平均　112.0 人）



平成 16 年度展示風景

出　張　授　業

市内の小中学校からの依頼により、当館学芸員が学校に出向いて、下記の授業をおこなった。

平 成 1 4 年 度

加治中学校
総合的な学習の時間「あずのタイム」

日　時　7 月 5 日（金）午後 2 時～
（50 分× 2 回）
対　象　加治中学校 1 ～ 3 年生
授業名　①「古文書からわかること」
②「昔の衣生活と『うちおり』」
担　当　①尾崎泰弘（当館学芸員）
②有馬雅彦（当館学芸員）
内　容　①「振武軍廻文」を教材にその解読を通し、古文書からどのようなことが判るのかを

説明した。
②明治～昭和初期の衣服について、その種類、織り方、着る場面、などについて説明し、現在と比較してそのちがいをまとめさせた。

精明小学校
社会科「きょう土をひらく」

日　時　12月12日（木）午前11時40分～
対　象　精明小学校4年生
授業名　「宮沢湖ができるまで」
担　当　有馬雅彦（当館学芸員）
内　容　社会科副読本に掲載されている宮沢湖（宮沢溜池）について、できるまでの経緯、工事の様子などについて説明した。

平成16年度

美杉台中学校
総合的な学習の時間「テーマあんなことこんなこと講座」

日　時　6月24日（金）午後1時40分～（20分×2回）
対　象　美杉台中学校1～3年生
授業名　「写真から歴史を読み取る」
担　当　柳戸信吾（当館学芸員）
内　容　古写真、個人のアルバムにある写真などから、歴史的な情報を読み取る方法について説明した。

平成15年度

美杉台中学校
総合的な学習の時間「テーマあんなことこんなこと講座」

日　時　6月20日（金）午後1時40分～（20分×2回）
対　象　美杉台中学校1～3年生
授業名　「写真から歴史を読み取る」
担　当　柳戸信吾（当館学芸員）
内　容　古写真、個人のアルバムにある写真などから、歴史的な情報を読み取る方法について説明した。

原市場小学校
社会科「きょう土をひらく」

日　時　11月19日（金）午後1時30分～（50分×2回）
対　象　原市場小学校4年生
授業名　「宮沢湖の開発」
担　当　有馬雅彦（当館学芸員）
内　容　社会科副読本に掲載されている宮沢湖（宮沢溜池）について、できるまでの経緯、工事の様子を説明し、工事に使ったものと同種の道具について観察してもらった。

中学生職場体験

中学生の職場体験の一環として、郷土館の業務を体験してもらっている。

平成15年度
実施日　2月18日（水）・19日（木）・20日（金）
対　象　飯能第一中学校　3人
内　容　館内の清掃、古文書・刊行物の整理等

平成16年度
実施日　2月2日（水）・3日（木）・4日（金）
対　象　飯能第一中学校　2人
内　容　館内の清掃、民具台帳・刊行物の整理、小学3年生見学対応補助等

レファレンスの対応

当館には、展示を見学したり講座に参加したりするだけでなく、自分で学習するため、あるいは授業で使うための様々な地域の情報、資料などを求めて来館される方がいる。そのような来館者への対応も当館にとって重要な仕事のひとつである。

来館者が窓口や電話で問合せる内容には、観光地への道筋や文化財の所在地などその場で答えられる軽微なものから、しばらく時間をいただいて調査してからでないと答えられないものまで、様々である。このうち、調査をおこない資料、情報などを提供した場合には、対応内容や提供資料などを「レファレンス対応記録票」に記入している。その理由は、それが特別展のテーマや調査活動に発展する可能性があるためと、同じような問合せがあった場合の時間や作業の無駄を省くためである。

平成 14 年度から 16 年度にかけてレファレンス対応記録票に記入された内容は以下の通りである。なお、最近では電子メールによる問合せも増加してきている。

平成１４年度

No.	照会日	件名	回答日	照会者	照会方法
1	5.5	アトム像が建てられた経緯について	5.5	一般	来館
2	5.6	増上寺にあった石灯籠が移設されている寺について	5.6	一般	来館
3	5.15	勢至堂堀があった場所について	5.15	一般	来館
4	5.15	飯能市の市史編さん事業はどのように行われたか	5.23	他市職員	文書
5	7.30	飯能町時代の例規集（公民館条例）があるか	8.2	市職員	電話
6	8.4	入間川総合開発基本計画構想計画書が見たい	8.4	一般	来館
7	11.26	石森姓の系図について	11.27	一般	文書
8	11.26	菅公像（東吾野公民館）関連資料について	11.26	市職員	電話
9	11.27	西川材の出荷先、用途などについて	12.8	小学生	文書
10	11.27	高山不動のイチョウ、軍荼利明王立像などについて	12.15	小学生	文書
11	12.14	四国遍路関係資料について	1.24	大学	文書
12	12.17	上畑村の農兵徴募について		一般	来館
13	1.9	昔の授業机の前方にある四角い穴の用途について	1.13	小学生	来館
14	1.9	石原の獅子舞が行われる日はいつか	1.9	一般	電話
15	1.16	岩沢の明王寺が白髭白山神社の境内にあったかどうか	1.24	市職員	電話
16	1.22	武蔵野鉄道の資料について	1.22	教師	電話
16	1.25	昔の生活道具を見せて欲しい	1.26	教師	来館
17	1.29	原市場地区の宗門人別帳について	1.31	一般	Ｅメール
18	2.12	元加治村分村関係資料について		一般	来館

平成１５年度

No.	照会日	件名	回答日	照会者	照会方法
1	4.7	大河原亀文の「学者必読妙々奇談」について	4.8	一般	Ｅメール
2	5.20	大河原文左衛門に関する資料について	5.27	一般	電話
3	5.28	鉢形城から南下して来た前田軍が飯能を通った資料があるか	6.17	一般	来館
4	6.14	南高麗から青梅に抜ける鎌倉街道について	6.14	教師	電話
5	6.20	江戸時代の１両は今のお金でいくらか	6.20	小学生	電話
6	6.	入間川に関する資料について	6.	小学生	来館
7	7.24	原市場、名栗に鉄道を引く運動について	7.24	市職員	電話
8	7.	諏訪八幡神社の丹生樹及び飯能の巨木について	8.24	一般	来館
9	8.19	乃木希典大将の銅像の場所について	8.19	一般	来館
10	9.15	点字ができた理由について	9.15	小学生	文書
11	9.15	猪狩の大モミが展示してある理由について	9.15	小学生	文書
12	10.14	高山三郎重遠に関する資料について	11.14	一般	文書
13	11.18	「肩車」の方言について	11.19	一般	Ｅメール

No.	照会日	件　　名	回答日	照会者	照会方法
14	12.3	飯能焼爛徳利の使用方法について	1.29	一般	文書
15	12.16	唐竹の大けやきの現状について	12.16	一般	来館
16	12.	精明村当時の公文書の有無について	1.6	一般	来館
17	1.7	十日夜のわら鉄砲について	1.7	小学生	来館
18	1.12	飯能に関する文化人の資料について	1.14	一般	来館
19	1.14	明治頃の阿須地域住民の名前を知りたい	1.14	一般	来館
20	1.20	明治１９年学資金借用の内容について	2.18	市職員	電話
21	2.5	毘沙門天の起源について	2.10	一般	来館
22	2.13	落合小唄について	2.18	一般	電話
23	2.18	西川材は新河岸川を利用して運んだか	3.2	一般	電話
24	2.20	原市場館について	2.20	新聞記者	電話
25	3.2	墓石に刻んである時世の句について	3.2	一般	来館

平成１６年度

No.	照会日	件　　名	回答日	照会者	照会方法
1	5.28	飯能で現在絵馬を描いている人がいるか	5.30	一般	電話
2	6.9	打木村治詩碑の場所と公園の読み方について	6.9	一般	電話
3	6.15	天文神社のご祭神について	6.15	一般	Ｅメール
4	6.23	紙屋の屋号を持つ「小川庄次郎」について	6.23	一般	電話
5	6.25	肥料商についての資料について	7.1	大学生	Ｅメール
6	6.29	朝日山の「朝日」の意味について	6.29	一般	電話
7	7.3	明治１６年の近衛兵大演習について	7.17	一般	来館
8	7.6	墓碑の漢文を現代語訳してほしい	7.9	一般	来館
9	8.4	玄奘法師が遺骨が奉られている寺について	8.4	一般	電話
10	8.18	五輪塔について	8.18	一般	来館
11	8.25	鎌倉権五郎影政について詳しく知りたい	8.25	一般	来館
12	9.11	名主、小山国三郎、大河原又衛門について	9.11	一般	電話
13	9.22	飯能村の絵図の所在について	9.26	一般	Ｅメール
14	9.24	覧山荘の写真について	10.3	一般	来館
15	9.30	習合神道神事舞太夫について	10.11	他市職員	文書
16	10.5	飯能市新光は飯能戦争の時、何村であったか	10.5	一般	電話
17	10.8	若松国士太夫について	10.10	一般	Ｅメール
18	10.24	高麗坂東の「坂」の字について	10.24	市職員	電話
19	11.5	蘇民将来について	11.5	他市博物館	電話
20	11.5	地口行灯を用いた祭礼について	11.25	他市職員	文書
21	12.2	「高麗横町」という名称はいつから使われていたか	12.2	市職員	電話
22	12.12	「飯能」という地名の由来について	12.17	一般	Ｅメール
23	12.19	寛文５年小岩井村年貢割付状について	2.1	一般	来館
24	12.21	岩井堂観音について	12.21	市職員	電話
25	2.8	鎌倉街道について知りたい	2.8	一般	来館
26	2.9	原市場地区で行われていた紙漉きについて	2.9	教員	文書
27	2.10	飯能の郷土料理について	2.17	一般	電話
28	3.1	石橋供養塔とはどのようなものか知りたい	3.3	一般	電話
29	3.13	苅生の薬師様について	3.17	一般	Ｅメール
30	3.16	飯能に「フセギの祭り」に似たものがあるか	3.17	一般	Ｅメール
31	3.18	原市場自治会で区を付けて呼んでいた経緯について	3.18	市職員	電話

講師派遣

当館の学芸員に対して、他の団体や機関から郷土の歴史等に関する講師派遣の依頼があることがある。郷土の文化・歴史を調査、研究する機関として、そのような依頼に対してはできるだけ応じるように心がけている。

講師派遣のうち学校からのものは「博学連携」の出張授業の項（61ﾍﾟｰｼﾞ）に掲載してあるため、それ以外のものについて示すと、下記のとおりとなる。

平成14年度

●日時　平成14年7月31日（水）
午後1時～3時
対象　いちごクラブ　29人
担当　尾崎泰弘（当館学芸員）
会場　当館学習研修室
内容　市民セミナー「わが街飯能の郷土と歴史にふれよう」

●日時　平成14年11月12日（火）
午後2時～3時30分
対象　飯能市中央公民館主催飯能学講座『飯能の民家』受講者
担当　尾崎泰弘（当館学芸員）
会場　飯能市中央公民館
内容　「飯能　まちなみの変遷　～絵図・古写真を通して～」

平成15年度

●日時　平成15年8月22日（金）
午前9時30分～11時30分
対象　加治中学校教職員　20人
担当　柳戸信吾（当館学芸員）
会場　当館学習研修室ほか
内容　職員研修「郷土飯能を知ろう」の一環。特別展「写真でたどる飯能市の50年」の解説、写真から歴史を読み取る方法の説明、収蔵庫の見学

平成16年度

●日時　平成16年4月6日（火）
午後2時～4時
対象　飯能市役所新規採用職員　5人
担当　柳戸信吾（当館学芸員）
会場　当館学習研修室
内容　新規採用職員研修「飯能の地理と歴史」

●日時　平成16年8月13日（火）
午後1時～2時40分
対象　飯能市教員初任者研修　21人
担当　有馬雅彦（当館学芸員）
会場　当館学習研修室ほか
内容　飯能地方の歴史・文化に関する講義

●日時　平成16年11月11日（火）
午後2時～3時30分
対象　飯能市中央公民館主催講座『飯能再発見』受講者　13人
担当　柳戸信吾（当館学芸員）
会場　当館学習研修室ほか
内容　特別展「筏師が見た入間川」に関する講義と展示解説

収　集

郷土館は「もの」資料やそれに関する情報を通して市民が歴史や郷土のことについて学習するための社会教育機関である。そのためには、「もの」資料を収集し保存することが不可欠である。当館で収集している資料の多くは市民からの寄贈によるものが中心で、そのほかに市役所内他部署から移管された資料や文書類がある。このように収集した資料は、市民の財産として永遠に保存すべく、台帳に登録して整理し、収蔵庫に保管して管理されていくことになる。

寄　贈　資　料

平成１４年度

（敬称略）

番号	資　料　名	点数	寄　贈　者　名
1	『旅路日記』『ふるさと探検』	2	権田　恒夫
2	『滑川村史』『岩槻市史』など	3	福与　孫十
3	袴下、軍衣、南方用防暑着など	8	駒井　薫
4	カジキリグルマ	1	山川　常吉
5	俸給支拂證票	1	尾島　武平
6	「名栗音頭／西川音頭」音楽テープ	1	石井　英子
7	そろばん	1	小島幸次郎
8	石臼、石臼台	1式	滝田　輝江
9	ＬＰレコードなど	8	石井　英子
10	十王教（十王様）資料	1	田中　達夫
11	「飯能地方の”みんよう”と情景」ビデオテープ	1	「飯能の民踊」を踊り継ぐ市民ネットワーク
12	引札（少女の絵）	1	岸田　卓三
13	最新埼玉県全図	1	加藤　寛之
14	旧久下分村西側公図コピーなど	3	小川　久雄
15	輪転機用原紙、ヤスリ板など	4	西澤　榮一
16	『富山芳男画伯画集』、デッサンなど	59	山田　輝美
17	「飯能町上水道布設工事祭次第」	1	井上　次子
18	故富山芳男画伯遺作品絵画	25	川端みゆき・山田はつゑ
19	『阿須ふるさと散歩』	2	山崎　修二
20	扇風機（ナショナルＭ２型）	1	篠崎　富治
21	裁ち板、天秤棒、弓破魔など	10	土屋　眞一
22	ミシン（シンガー製）、電気釜など	4	小川　廣信
23	ヒッコミダイ	1	新井　ハル子
24	『飯能のたからものガイドブック』	3	柳沢　陽子
25	オートベーカー、ところてん押し器	2	石渡　四郎
26	斜子の羽織（紋付）、縦縞縞羽織	2	中村　久子
27	「観音寺境内と県道」写真	1	荒川　文雄
28	『江戸時代にみる日本型環境保全の源流』	1	加藤　衛拡
29	美杉台音頭テープなど	4	石井　英子
30	句集『軽鳧親子』	1	浅見　博市
31	「飯能の道」写真記録集アルバム	1	自治文化課
32	民謡レコード	2	石井　英子
33	句集、教科書	3	岩沢　勘治
34	駿河台大学カヌー部機関紙創刊号	1	児嶋　雅子
35	「飯能殿山音頭」、「奥武蔵別天地音頭」音楽テープ	2	石井　英子
36	「山子」、「木を切る男」写真パネル	2	鴨下栄太郎
37	『わたしたちの郷土飯能地方』など	5	細田　久夫
38	カメラ、レンズなど	4	岩田　孚助
39	宮参り着など	12	森口　悦孝
40	かいまき、着物	2	椙田　富夫
41	『一以ってわが道を貫く』	1	島田桂一郎先生追悼集編さん委員会
42	標準服、仕事着など	19	山川　トキ

平成15年度

（敬称略）

番号	資料名	点数	寄贈者名
1	ゆかた、江戸褄	2	島崎　允子
2	短編釣り小説『秘渓』	1	木崎　勝年
3	「奥武蔵木挽唄」民謡レコードなど	2	小沢　千月
4	「美杉台里唄」「吾野音頭」など音楽テープ	3	原　一精
5	「南高麗音頭」 CD	1	五江渕幸子
6	「精明音頭」音楽テープ	1	中島　政男
7	古文書	1箱	井上　章治
8	民謡・歌謡曲レコード	11	菊池好太郎
9	積み木、校章入りガラス	16	南高麗小学校
10	阿須運動公園付近」など写真	7	小山　幸男
11	「春の郷土館」油絵	1	小島喜八郎
12	『山の親父のひとりごと』	1	羽鳥　孝明
13	「２０世紀世界の記録」ビデオテープ	33	内沼　須美
14	「旧正丸峠開通式」写真	3	大野　哲夫
13	「古峰神社代参講員名簿」など古文書	13	朝日　昌子
14	蚊帳	1	吉田よし江
14	国体リハーサル大会 2003 使用品	1式	国体室
15	東吾野村長日記など	19	大野　元治
16	古文書	1箱	江原　一
17	『中山信吉』、『長久保赤水』など	13	佐川　春久
19	埼玉県関係刊行物	48	太田　和夫
20	電気あんか	1	嶋崎　あさ
21	『新撰組ミニガイド』など	2	㈱小島資料館
22	樋田五峯「春渓」軸など	2	西澤義三郎
23	『第１回奥むさし駅伝競走大会開会式次第』など	10	体育課
24	砂利ふるい、背負はしごなど	5	鈴崎　實
25	のこぎり、さおばかり、火のしなど	19	浅見　政一
26	学帽、背のう、教科書	1式	及川　湍夫

平成16年度

（敬称略）

番号	資料名	点数	寄贈者名
1	民謡「雄気の人」音楽テープ	1	石井　英子
2	引き札の版木、こて、きり、木槌ほか	10	小林　忠雄
3	「飯能戦争」ビデオテープ	1	小菅勇三郎
4	『狩野家墓地調査報告書』	1	池上本門寺
5	七ツ鉢	1式	杉田　智章
6	『飯能の歴史』	1	吉田　靖
7	古文書	1箱	土屋　守弘
8	「名栗合掌造り」油絵	1	鈴木　松男
9	『日本藝術家秀逸全集 2003』	1	三好　一雄
10	槍で作った船の模型	5	山川　常吉
11	『武蔵野三十三観音巡礼』	1	大野　邦弘
12	『わく沸くどき土器』	1	坂口　和子
13	処理場建設等ネガフィルム	4箱	浄化センター
14	古写真など	10	秘書室
15	民踊交流ビデオテープ	1	石井　英子
16	『歌集　山藤の花』	1	本橋　きみ
17	『海に入るみこし』	1	穂波　理枝
18	『続民俗茶ばなし』『埼玉の女たち』など	8	槙島　則子
19	民謡レコード	18	菊池好太郎

番号	資料名	点数	寄贈者名
20	古文書	3箱	斉藤　景司
21	『ふるさと加治』	1	青木　晃平
22	火鉢	1	菊池好太郎
23	おひつ、しゃもじ、湯たんぽ教科書など	115	新井　一太
24	飯能地方少年野球優勝旗など	29	中島　秀雄
25	『飯能市詳図』「飯能市街航空写真」など	3	新井　治邦
26	『古文書翻刻誌』	2	狭山古文書勉強会
27	破魔弓飾り、五月人形	5	新井　正一
28	皮むき、手回し洗濯機など	13	小南　和子
29	はえとり器	1	堀越喜代子
30	市制施行50周年記念事業資料	1式	秘書室
31	故富山芳男画伯関係資料	1式	山田　輝美
32	飯能市名栗村合併記念式典配布物	1式	企画調整課
33	第59回国体「コバトン」ミニぬいぐるみなど	2	秘書室
34	「飯能市名栗村合併協議会」看板	1	総合政策部
35	天覧山多峰主山自然博物館展示物	1式	天覧山多峯主山の自然を守る会
36	名栗村閉村式での配布品	1式	名栗村総務課
37	平成16年成人式記念品	1式	生涯学習課
38	木綿風呂敷、夜具地、陸軍便箋	8	大野さく子
39	『埼玉県の民謡』	1	中央公民館
40	「飯能消防組第7部」写真	1	山川　定雄
41	「中橋」写真	2	栗原徳次郎
42	「飯能音頭2005」音楽テープ	10	石井　英子
43	古文書	1式	鈴木　恭子
44	押切、三本鍬、泥面子、やすなど	102	渋谷　マキ
45	下川崎村公図	1	関谷　英男
46	『埼玉県の歴史散歩』	1	野口　孝
47	内田晃絵画（油絵、デッサン）	70	内田　芳子

行政文書の収集

平成16年度に取り壊し建て替えることとなった吾野公民館の蔵には、飯能市に合併する前の吾野村の時に作成された行政文書及び合併後吾野支所として機能していた時の行政文書が保管されていた。これらの文書は取り壊し前に郷土館で保管することとなった。文書は蔵の中の棚に部署ごとに配架されていたため、どこにどの文書があったかを記録し、原則的にすべての文書を運び出すこととした。

搬出作業は平成16年6月29・30日に実施し、運び出した文書はﾀﾞﾝﾎﾞｰﾙ箱153箱分に及ぶ。今後、整理、目録作成等の作業をすすめる予定である。



吾野公民館蔵の文書保管状況

購入資料

平成16年度に、下記の資料を購入した。

資料名　「田安御領知増永訴訟御箱訴之写」（宝暦12年9月7日）　1点

整　理

当館には市民からの寄贈や購入等によって収集された飯能市の歴史や文化、風土に関する様々な資料や地域に関する情報が集積されている。これらは、特別展や学習会などの郷土館主催の事業に利用されるだけでなく、学校の教材、市のまちづくり計画作成資料、個人や機関の研究活動の資料として利用されている。資料や情報を活用できるように整備するには「整理」作業が不可欠である。この作業を経て、職員が必要な資料や情報を素早く的確に探し当てられるようになり、市民の利用に供することができるからである。

資料の性質によって整理作業の流れに若干違いはあるが、おおよそ以下のとおりである。

①民具

民具とは、一般的には人々が生活の必要から製作、使用してきた一切の道具であるが、当館の場合、古文書・典籍、古写真、絵画、工芸、考古に属さない資料のすべてがこの範疇で整理されている。搬入されるとまず受け入れ台帳に登録され、その登録番号が資料番号となる。そして資料名・寄贈者氏名・住所、寄贈年月日などのほか、寄贈者から聞き取りした製作したときの状況や使用した時期、使い方などの情報、民具そのものがもつ大きさや材質などの情報を民具カードに記録する。

②古文書・典籍（文献資料）

紙に書かれた資料がこれに該当する。これらのほとんどは昭和 49 年から昭和 62 年までおこなわれた飯能市史編さんの過程で収集されたものである。そして、平成 7 年 2 月より、中性紙封筒・保存箱への詰め替え作業を始めるとともに、再整理作業を開始した。これは、これまで内容により分類され配架されていたものを、群としての史料を重視する立場から、所蔵者別に通し番号をつけて 1 点 1 点カードをとり、所蔵者ごとの収蔵に切り替えるというものである。同時に所蔵者の概要を記した古文書所蔵者解題カードを作成し、史料の内容を確認したものについてはコンピュータへの入力をおこなっている。

③古写真

当館で収蔵している写真資料は個人所蔵の写真を複写させていただいたものと、館で所蔵しているものの 2 種類に分けることができる。これらの資料はいずれも、所蔵者（旧所蔵者）を単位に整理をおこない、写真 1 点ずつ写真カードを作成し、所蔵者などから聞き取りの結果得られた情報を記録している。

また、同時にコンピュータへの入力もすすめている。整理の成果として、平成 14 年度には明治～昭和初期の写真を収録した「写真資料目録Ⅰ」を、平成 16 年度には昭和・平成期の写真を収録した「写真資料目録Ⅱ」を刊行した。

④絵画

軸装や額、屏風などに仕立てられた日本画に加え、地元作家や郷土に関係のある作家の油彩、デッサンなどの近代絵画を収蔵している。これらについては作家ごとにカード化し、整理を行っている。

⑤工芸

工芸資料には、市指定文化財である双木本家飯能焼コレクションや落合寿親の手による香合、接収刀剣類を含む日本刀などがある。

⑥考古資料

当館で収蔵している考古資料は、市民から寄贈を受けた飯能焼原窯表採資料や板碑などである。なお、教育委員会生涯学習課による発掘調査で得られた考古資料は、教育委員会山手分室の生涯学習課収蔵庫で保存している。



整理作業風景

⑦その他の資料

このほかに、他の博物館、市の機関などが発行した図録、報告書、要覧などの図書類がある。これらについては発行機関別に受け入れ台帳を作成している。また、飯能に関係するビデオソフトや記録映像として価値があるもの、さらにはレコードやテープ、ＣＤといった音声資料も収蔵している。これらの資料についても台帳が作成され、利用できるようになっている。

⑧「モノ」以外の情報

特定のテーマや地域の様子に関して聞き取りをした成果や資料などの「モノ」に付随しない情報も蓄積されつつあるが、これに関しては、近世の村（大字）単位で封筒を用意し、学芸員個々が適当な書式でまとめたものをそれに入れるようにしている。ただし、この場合、地域を横断して関連する情報を抽出するには困難なため、その効果的な整理方法を検討している段階である。

カード作成もしくは目録登録済み資料点数一覧

民具	古文書	古写真	絵画	工芸	考古	映像	図書	その他
4,310	25,016	3,920	394	256	1,514	177	12,698	833

※「その他」は、古美術、文学、レコード、テープを集計

修　復

①接収刀剣類（通称「赤羽刀」）

終戦後、連合国占領軍によって接収された刀剣類のうち、廃棄を免れたものが北区赤羽の米第八軍兵器補給廠に集められていた。この中から選別され東京国立博物館に保管されていた 5,500 本あまりの日本刀のことを接収刀剣類といい、その経緯から通称「赤羽刀」と呼ばれている。このうち旧所蔵者の判明したものと国が保管するものを除いた刀が全国の公立博物館に無償譲与されることになり、当館でも申請をおこなった結果、平成 11 年 12 月 14 日に 10 振の譲与を受けた。

譲与された刀はすべて錆身であったので、それを保存し活用するために、平成 12 年度より研磨をおこなっており、現在、下表に示した刀が研ぎ上がっている。

研磨終了接収刀剣一覧

No.	年度	種　別	刃長 (cm)	反り (cm)	銘
1	12	短刀　(No. 8067)	27.4	0.3	関住兼［　　］
2	12	脇指　(No. 2949)	51.8	0.9	（菊紋）出羽守法橋源光平
3	12	脇指　(No. 946)	51.5	0.8	井上和泉守国貞／（菊紋）寛文二年月日
4	13	脇指　(No. 1012)	45.8	1.4	河内守藤原国助
5	13	刀　(No. 628)	71.8	1.6	兼景
6	14	脇指　(No. 4126)	58.6	1.4	無銘（切付銘）一胴佛土壇入
7	14	刀　(No. 2497)	74.8	1.0	相模守（下）原広重
8	15	刀　(No. 4278)	65.2	1.4	備州長船祐定
9	16	刀　(No. 3714)	71.2	2.0	（無銘）

②高麗鶴堂画「許由巣父図」屏風

この屏風は平成 12 年度に寄贈されたものである。本来は六曲一隻であったものが、中央の紙番が完全に切れて離れてしまい、二つに分かれてしまっていた。また、その他の紙番にも切れている部分が多く見られ、虫損、シミ、破れなども見られた。

このため、将来的に屏風に仕立て直すことを前提に、資料の現状維持を目的とした修復方針を立て、屏風より本紙 6 面をはずし、仮の裏打ちを施す保存修復作業をおこなった。作業は平成 14 年度にナカバヤシ株式会社に委託して実施した。



修復途中の状況

③樋田五峯画「春渓」

この資料は平成 15 年度に寄贈された絹本の日本画である。装丁されずに仮巻きに巻かれた状態で保存されており、全体に染みが生じ、絵具剥落の恐れがある部分もあり、保存上不適切な状態だった。

このため、平成 15 年度にナカバヤシ株式会社に委託し、仮台紙から外して絵具剥落止め、染みの除去等をおこない大和三段表装の掛け軸に仕立てる修復措置を講じた。



修復完了後の状態

保　存

●燻蒸

これまで、常設展示室・収蔵庫を対象に、それぞれの空間で 3 年に 1 度燻蒸をおこなってきたが、燻蒸に使用する臭化メチルがオゾン層破壊物質に認定され、使用禁止になる方針がうちだされたため、当館でも平成 11 年度からは燻蒸を実施していなかった。しかし、このままだと収蔵資料に虫菌害がおよぶおそれがあるため、平成 15 年度からは、新規に収集した資料をビニールシートで覆う被覆燻蒸を実施し、燻蒸後に収蔵庫に保存することとした。

また、同じく平成 15 年度からは、収蔵庫や展示室の虫菌類の有無を調べるための環境調査を毎年 2 回実施し、その存在が確認された場合には、必要な措置を講ずるようにしている。現在までのところ収蔵庫の保存環境は良好な状態で保たれている。



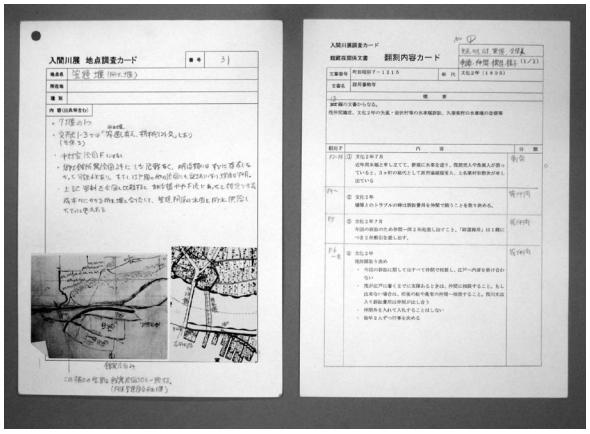
被覆燻蒸

調査・研究

郷土に関する歴史や民俗、文化といった事項やその資料の調査・研究は当館の重要な業務である。特別展などの展示や学習会、レファレンスの対応、資料の貸出利用などは、調査、研究があってはじめて可能となるからである。しかし、現状では学芸員が調査・研究に割ける時間は十分とは言えず、毎年の特別展開催のための資料調査と古文書所在確認調査が主要な調査となっている。

特別展に関する調査

毎年秋に開催される特別展は、当館が最も力を入れている事業である。特別展開催のためにはそのテーマに関する市内外の資料の確認調査、聞き取り調査、文献調査などが不可欠であり、学芸員はこのために多くの時間を費やす。特別展図録はこの調査成果の集大成とも言えるが、ここに掲載されていないものも含め、すべての調査成果について、別にカード等をつくり、整理している。これは調査成果を今後の研究や利用に生かすためである。こうして、特別展開催ごとに地域に関する情報が蓄積されている。



平成 16 年度特別展のための調査カード

古文書所在確認調査

平成 11・12 年度に埼玉県立文書館から委嘱され実施してきた県域史料の所在・保存情報の確認調査を契機に、当館では平成 13 年度より単独で市内の古文書所在確認調査を実施している。対象は昭和 52 年に埼玉県教育委員会が行った古文書所在確認調査で把握された市内の史料群及び『飯能市史』編さん時に調査した史料群であり、平成 14 年度は 3 件 (加治地区・旧飯能地区・吾野地区各 1) 実施した。

なお、平成 15 年度よりは、飯能市教育委員会生涯学習課を中心に、新たな史料群の発掘も目的に加えた文化財の悉皆調査として実施することとなり、現在も継続して行われている。



調査先での古文書の収納状態

刊　行　図　書

平成１４年度

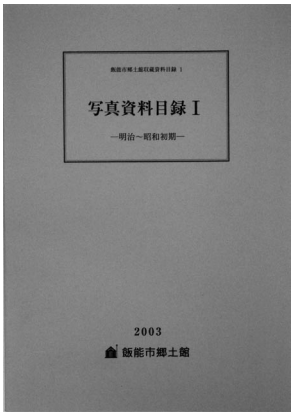
「うちおり～織物に込められた想い～」展示図録	Ａ４	４８ページ
飯能市郷土館館報「郷土館のプロフィール」第３号	Ａ４	１００ページ
飯能市郷土館収蔵資料目録Ⅰ　－写真資料目録Ⅰ－	Ａ４	９２ページ

平成１５年度

「中山氏と飯能・高萩 ～時と街を結んだ武士の系譜～」展示図録	Ａ４	４０ページ
飯能市郷土館研究紀要第３号	Ａ４	４２ページ

平成１６年度

「入間川再発見－入間川４市１村合同企画展－ ～身近な川の自然・歴史・文化をさぐって～」	Ａ４	１３６ページ
入間川散策ガイドブック	Ａ４	１６ページ
飯能市郷土館収蔵資料目録Ⅱ　－写真資料目録Ⅱ	Ａ４	９４ページ



飯能市郷土館収蔵資料目録Ⅰ

郷土館だより

郷土館だよりは、郷土館の事業を知っていただくための広報誌で、年４回発行を目標にしている。途中、都合により回数が減ったが、季節ごとに発行できるようにしている。

全戸配布は、費用の点で無理のため、各戸回覧で見ていただくことにしており、配布にあたっては、自治会・町内会の皆様にご理解とご協力をいただいている。

郷土館だよりのニックネームについて

飯能市郷土館だよりニックネーム「Kiki」命名の由来は創刊号に示されている。創刊号の文面をそのまま紹介すると次のとおりとなる。

> 連想ゲームのようにして生まれました。先日テレビを見ていましたら、
> サッカーくじの話題が流れていました。「トト」というらしいですね。
>
> そこでひらめきました。「キキ」→「Kiki」です。飯能は西川材の主要生産地。「樹木」と書いて「キキ」と呼んでください。
>
> そう言えば『魔女の宅急便』の主人公の少女の名前も「キキ」です。魔女見習いのキキは物と一緒に物に込められた人の願いや、想いも運びます。『郷土館だより Kiki』も、情報だけでなく、そこに込められたスタッフの願いや想いを伝えられたらと思います。

発行経過

平成１４年度

第５号　「特別展お知らせ号」

発行日　平成１４年１１月１５日
表　紙　もみじの絵柄
内　容　秋の特別展「うちおり～織物に込められた想い～」お知らせ、講演会・機織り唄を囲んでの案内、職員紹介、まちおこしは郷土の民謡から、これからの行事予定

第６号　新春号

発行日　平成１５年２月１５日
表　紙　埼玉郷土かるた
内　容　郷土館のあゆみとこれから、特別展「うちおり」の感想、人気刊行図書、文化財関係ビデオ紹介、年度収蔵品展のお知らせ

平成１５年度

第７号　春号
発行日　平成１５年４月１５日
表　紙　表紙は美杉台の桜
内　容　郷土館は玉手箱「収蔵品展」の案内、飯能市の５０年写真募集、学べる館「郷土館」、飯能市と高萩市の関係紹介、お出かけ情報（他の博物館・美術館紹介）、山の彦の言葉

第８号　欠番（当初、号数を振っておらず、第９号の時に振りまちがえ）

第９号　春号
発行日　平成１６年３月１５日
表　紙　むかしのくらしと道具～民家の台所再現～の様子
内　容　「昔のあそび」「子どもの頃のあそび」を教えてください、むかしのあそび例：まりつきかげふみ、平成１６年度事業のご案内、事業予定表

平成１６年度

第１０号　さつき号
発行日　平成１６年　５月１５日
表　紙　「たんぽぽの詩」
内　容　展示のご案内　郷土館は玉手箱～食の器を中心にして～、今後の事業予定、昔のあそびⅡ　記録例：かるたとり

第１１号　秋号
発行日　平成１６年１０月１５日
表　紙　「筏流し再現」の写真
内　容　秋の特別展案内、入間川再発見～身近な川の自然・歴史・文化をさぐって～（４市１村合同企画展の全体、関連事業の紹介）、昔のあそびⅢ：将棋のコマとり、刊行物のご案内

第１２号　冬号
発行日　平成１６年１２月１５日
表　紙　「山川から千住までを唄う」写真
内　容　郷土館これからの事業予定、郷土館今年のあゆみ、年中行事「歳末」、心理療法に使われる民具、郷土館利用グループ紹介、郷土館協議会紹介、窓口の紹介、晩秋の風物「わたむし」、昔の遊びⅣ：さささ舟

第１３号　春号
発行日　平成１７年３月１５日
表　紙　八重桜と日本の建物
内　容　郷土館これからの予定、昭和３０年頃春の農村風景、秋の特別展予告、名栗村史編さんの様子、早春の風物「オオイヌノフグリ」、レファレンス事業紹介、昔の遊びⅤ：釘っとおし、Kiki 命名の由来



郷土館だより　平成 16 年度発行分

名栗村史編さん事業

平成 17 年 1 月 1 日、飯能市は名栗村と合併した。

合併前に名栗村では、平成 10 年度から「名栗村史資料調査員」を委嘱して、村内の歴史資料の収集・整理、調査研究を始め、平成 11 年度からは名栗村史研究「那栗郷」、名栗村史料目録を刊行した。平成 14 年度に村史編さん委員会を設置、平成 15 年 4 月 1 日には村史編さん室を開設し、平成 16 年 11 月には編さん事業の成果として「名栗の民俗（上巻）」が名栗村教育委員会から刊行された。

飯能市と名栗村の合併に伴い、村史編さん事業は新飯能市が継承し、新たに飯能市名栗村史編さん委員会を設置して、郷土館がその事業を所掌することになり、平成 19 年度事業完了予定で編さん業務を行っている。

飯能市名栗村史編さん大綱

1. 目　的

昭和３５年刊行の「名栗村史」は、豊かな自然を育み、生かし、名栗村の基礎を築いた先人の足跡を村民一人ひとりが正しく認識し、深い郷土理解に基づいた村づくりの促進を目指して編さんされた。

飯能市と名栗村は平成１７年１月１日に合併したが、本編さん事業は、前述の目的を継承すると共に、組織的に調査・収集された多くの村史料の活用を通して、新しい「名栗村史」を編さんする事を目的とする。

2. 基本方針

前項の目的を達成するために、下記事項に留意して編さん事業を進める。

（１）　飯能市民及び名栗地区の人々、また一般に親しまれ、理解されるよう、平易、明解な記述をする。

（２）　編集は名栗村史としての統一を考慮しながら、歴史部門、民俗部門に分けて行う。
歴史部門は古代から現代までを内容とする。

（３）　本の体裁は市民の活用を考慮し、分冊とする。

（４）「名栗村史料目録」を刊行し、史料を明確にする。

（５）　名栗村史研究『那栗郷』を刊行し、村史重要史料を紹介する。

（６）　編さん委員会の目的、組織、及び編集委員の任務等は条例と規則で定める。

（７）　内容は史実に立脚し、中立、公平な立場で記述する。

3. 組　織

編さん事業のための推進組織は、合併後の新市の実情に合わせ、次のようなものとする。

（１）　編さん委員　５人以内
村史編さん及び刊行に関すること等、重要事項の審議にあたる。

（２）　編集委員　　４人
部門別の専門分野について、名栗村史に関する調査、研究、執筆及びその編集にあたる。

（３）　専門調査員　若干名
編集委員の要請に応じて、名栗村史に関する資料の収集、調査、研究、及び執筆にあたる。

（４）　調査協力員　若干名
編集委員または専門調査員の要請に応じて、名栗村史に関する資料の収集、調査及び研究の協力にあたる。

（５）　部会
村史に関する資料の収集、調査、研究等を行うため、次の４部会を設ける。
①古代、中世史部会
②近世史部会
③近・現代史部会
④民俗部会

（６）　事務局
事務局及び編さん事務室は、飯能市郷土館が所掌する。

4. 刊行物の内容

村史は、本編（歴史、民俗）、及び史料目録、村史研究を編さんする。

（１）　本編

（２）　史料目録、村史研究
ア　名栗村史料目録
イ　名栗村史研究　「那栗郷」

（３）体裁

（４）印刷部数

5. 編さん期間

村史の編さん期間は、平成１９年度までとする。その年次計画は〈別紙５〉のとおり。ただし状況に応じて、計画の変更もあり得る。

別紙（1）～（5）省略

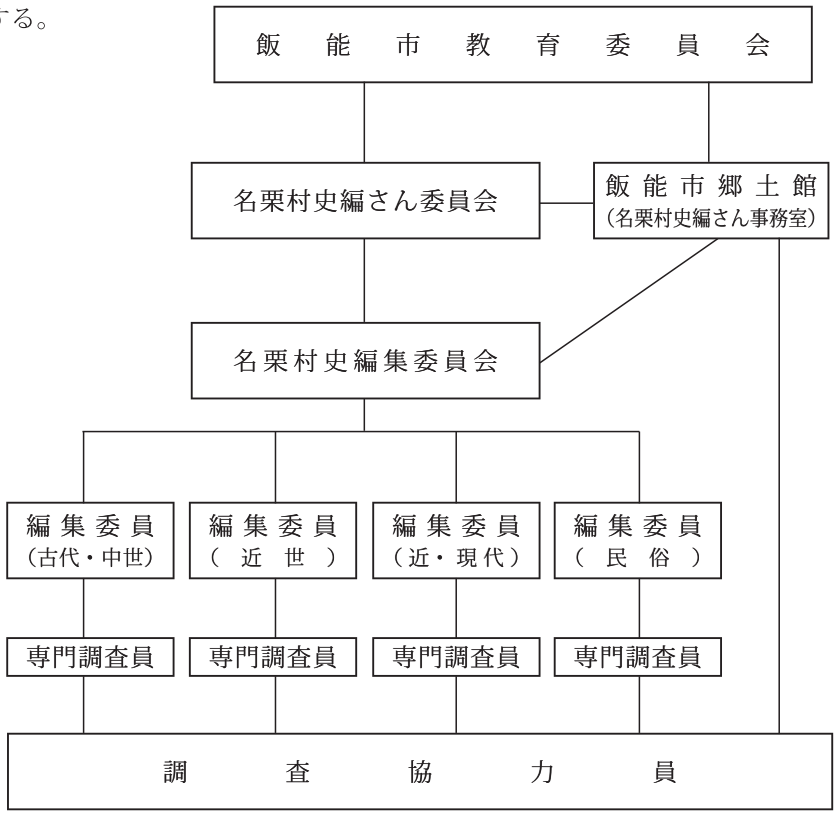
飯能市名栗村史編さん委員会条例

平成 16 年 12 月 24 日
条例第 51 号

(設置)
第 1 条　編入の日前の名栗村の村史 (以下「村史」という。) の編さん事業を行うため、飯能市名栗村史編さん委員会 (以下「委員会」という。) を置く。
(所掌事務)
第 2 条　委員会は、飯能市教育委員会 (以下「教育委員会」という。) の諮問に応じ、村史の編さん及び刊行に関する事項について調査審議する。
(組織)
第 3 条　委員会は、委員 5 人以内をもって組織する。
2　委員は、学識経験者のうちから教育委員会が任命する。
(任期)
第 4 条　委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
2　委員は、再任されることができる。
(委員長)
第 5 条　委員会に委員長を置き、委員の互選により定める。
2　委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
3　委員長に事故があるときは、あらかじめその指名する委員が、その職務を代理する。
(会議)
第 6 条　委員会は、委員長が招集し、会議の議長となる。
2　委員会は、委員の 2 分の 1 以上が出席しなければ会議を開くことができない。
3　委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
(庶務)
第 7 条　委員会の庶務は、飯能市郷土館において処理する。
(委任)
第 8 条　この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附　則

この条例は、平成 17 年 1 月 1 日から施行する。



飯能市名栗村史編さん組織図

飯能市名栗村史編集に関する規則

平成 16 年 12 月 28 日
教委規則第 16 号

(趣旨)

第 1 条　この規則は、名栗村史編集について必要な事項を定めるものとする。

(名栗村史編集委員等)

第 2 条　名栗村史を編集するため、名栗村史編集委員 (以下「編集委員」という。) を置く。

2　必要に応じ、名栗村史専門調査員 (以下「専門調査員」という。) 及び名栗村史調査協力員 (以下「調査協力員」という。) を置くことができる。

(任務)

第 3 条　編集委員、専門調査員及び調査協力員 (以下「編集委員等」という。) の任務は、次のとおりとする。

(1)　編集委員は、担当分野の調査研究、執筆及び編集に当たる。

(2)　専門調査員は、専門的事項について編集委員に協力する。

(3)　調査協力員は、調査について編集委員及び専門調査員に協力する。

(委嘱)

第 4 条　編集委員等は、飯能市教育委員会 (以下「教育委員会」という。) が委嘱する。

(任期)

第 5 条　編集委員の任期は、名栗村史編さん事業が完了した時をもって終了する。

2　専門調査員及び調査協力員の任期は、その専門的事項の調査が完了した時をもって終了する。

3　教育委員会は、特別な理由があると認めた場合は、編集委員、専門調査員及び調査協力員を解嘱することができる。

(編集委員長)

第 6 条　編集委員の互選により、編集委員長 1 人を定める。

2　編集委員長は、編集事務を統括し、編集会議の議長となる。編集委員長に事故があるときは、あらかじめ編集委員長が指名する編集委員が、その職務を代理する。

(編集会議)

第 7 条　編集会議は、編集委員長の要請により、教育長が招集する。

2　専門調査員及び調査協力員は、編集委員長の要請により編集会議に出席し、発言することができる。

(委任)

第 8 条　この規則に定めるもののほか、必要な事項は教育委員会が定める。

附　則

この規則は、平成 17 年 1 月 1 日から施行する。

委員名簿 (平成 17 年 3 月 31 日現在)

飯能市名栗村史編さん委員会委員

職名	氏名	役職等
委員長	有馬　壽雄	学識経験者
委員	町田　耕三	学識経験者
委員	島田　稔	学識経験者
委員	加藤　衛拡	筑波大学助教授
委員	浅見　徳男	飯能市文化財保護審議委員会委員

飯能市名栗村史編集委員

職名	氏名	所属等
委員長	加藤　衛拡	筑波大学
委員	諸岡　勝	埼玉県立文書館
委員	丸山　美季	学習院大学史料館
委員	大舘　勝治	さいたま民俗文化財研究所

飯能市名栗村史専門調査員

氏名	所属等
宮瀧　交二	大東文化大学
五島　敏芳	国文学研究資料館
安藤　耕己	吉備国際大学
加藤　衛拡	筑波大学
犬飼　大	埼玉県立文書館
井上　かおり	埼玉県立博物館
丸山　美季	学習院大学史料館

郷土館協議会

郷土館の運営に関する事項を調査し、及び審議するため郷土館協議会がおかれている（飯能市郷土館条例第１０条）。協議会は市議会議員、学校教育の関係者、社会教育の関係者、学識経験者から成る１０人以内の委員によって構成され、任期は２年である。

任期：平成１４年７月１日～平成１６年６月３０日

【委員名簿】

職　名	氏　　名	役　　職	備　　考
会　長	大　野　邦　弘	郷土館友の会会長	
副会長	杉　田　　隆	前飯能高等学校校長	
委　員	嶋　田　順　一	市議会議員	
委　員	小鹿野　輝　芳	飯能第一小学校校長	平成 15 年 3 月 30 日退任
委　員	細　野　一　郎	富士見小学校校長	平成 15 年 4 月 1 日就任
委　員	冨　澤　武　男	吾野中学校校長	平成 15 年 3 月 30 日退任
委　員	加　藤　親　夫	飯能西中学校校長	平成 15 年 4 月 1 日就任
委　員	坂　口　和　子	文化財保護審議委員会委員	
委　員	浅　見　　信	社会教育委員	
委　員	村　野　みどり	おはなしの会代表	
委　員	滝　錬　太　郎	彫刻家	
委　員	加　藤　栄　子	定点撮影プロジェクト会員	

【開催状況】

● 平成１４年度

第１回　平成１４年７月２４日（水）午後２時～

（協議事項）

・平成 13 年度度郷土館事業報告について
・平成 14 年度郷土館事業計画について

第２回　平成１４年１０月２５日（金）午後２時～

（協議事項）

・特別展「うちおり」について
・平成 15 年度事業計画（案）について

第３回　平成１５年２月２０日（木）午後２時～

（協議事項）

・平成 14 年度事業報告について
・平成 15 年度事業計画（案）について

● 平成１５年度

第１回　平成１５年５月１６日（金）午後２時～

（協議事項）

・平成 14 年度事業報告について
・平成 15 年度事業予定について

第２回　平成１５年１０月１７日（金）午後２時～
（協議事項）
・特別展「中山氏と飯能・高萩」について
・平成 15 年度事業の中間報告について
・平成 16 年度事業予定について

第３回　平成１６年２月１７日（火）午後２時～
（協議事項）
・平成 15 年度事業の中間報告について
・平成 16 年度事業予定について

● 平成１６年度

第１回　平成１６年５月２８日（金）午後２時～
（協議事項）
・平成 16 年度事業について
・郷土館の今後の課題について

任期：平成１６年７月１日～平成１８年６月３０日

【委員名簿】

職　名	氏　名	役　職	備　考
会　長	大　野　邦　弘	郷土館友の会会長	
副会長	村　野　みどり	おはなしの会代表	
委　員	嶋　田　順　一	市議会議員	
委　員	細　野　一　郎	富士見小学校校長	
委　員	加　藤　親　夫	飯能西中学校校長	
委　員	坂　口　和　子	文化財保護審議委員会委員	
委　員	森　泉　忠　雄	飯能絵画連盟	
委　員	田　島　哲　也	林業家	
委　員	滝　錬　太　郎	彫刻家	
委　員	加　藤　栄　子	定点撮影プロジェクト会員	

【開催状況】

● 平成１６年度

第２回　平成１６年９月１８日（土）午後２時～
（協議事項）
・平成 16 年度事業の経過と今後の予定について
・入間川４市１村合同企画展について

第３回　平成１７年２月１７日（木）午後２時～
（協議事項）
・平成 16 年度事業の経過と今後の予定について
・名栗村史編さん事業について
・平成 17 年度事業計画について

博物館実習

当館では、市民サービスの一環として大学の学芸員養成課程の博物館実習を受け入れている。
原則として、市民とみなされる世帯に属する子弟で博物館学の単位を修得した学生がその対象となる。

平成14年度

実施期間　平成14年7月26日（金）～8月13日（火）　12日間
実習生名　佐藤麻依子（東洋大学）、西村沙織（帝京大学）、岡野彰子（法政大学）、岩下良太（帝京大学）

	実施日	曜日	午前	午後
1	7月26日	金	埋蔵文化財出土品展準備（生涯学習課文化財担当）	
2	7月27日	土	埋蔵文化財出土品展準備（生涯学習課文化財担当）	
3	7月28日	日	埋蔵文化財出土品展準備（生涯学習課文化財担当）	
4	8月3日	土	夏休み親子歴史教室準備（久下）	
5	8月4日	日	身辺奥武蔵写真風土記展準備（尾崎）	
6	8月6日	火	夏休み親子歴史教室準備（久下）	
7	8月7日	水	施設・常設展示について（尾崎）	
8	8月8日	木	展示図録用写真の撮影（有馬）	
9	8月9日	金	夏休み親子歴史教室準備（久下）	
10	8月10日	土	夏休み親子歴史教室運営（久下）	夏休み親子歴史教室準備（久下）
11	8月11日	日	夏休み親子歴史教室運営（久下）	夏休み親子歴史教室反省会（久下）
12	8月13日	火	資料（工芸品）の梱包（尾崎）	実習のまとめ（尾崎）

平成15年度

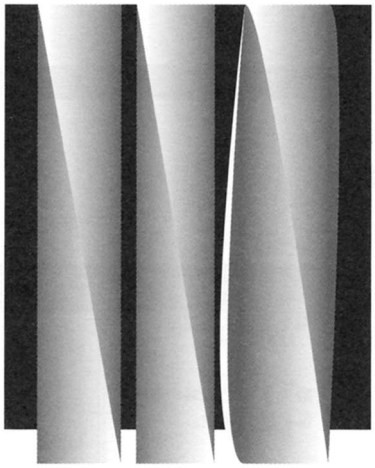
実施期間　平成15年7月29日（火）～8月10日（日）　10日間
実習生名　吉留正樹（東海大学）、嶋田由美（武蔵大学）、西村岳倫（帝京大学）、藤枝利光（東京農業大学）、村田奈美子（大正大学）

	実施日	曜日	午前	午後
1	7月29日	火	博物館の現状と課題について（久下）	施設について（柳戸）
2	7月30日	水	考古資料の整理（生涯学習課文化財担当）	
3	7月31日	木	写真展リーフレットづくり（柳戸）	
4	8月1日	金	写真展リーフレットづくり（柳戸）	
5	8月5日	火	夏休み親子歴史教室準備（柳戸・島崎）	
6	8月6日	水	夏休み親子歴史教室準備（島崎）	
7	8月7日	木	夏休み親子歴史教室運営（島崎）	夏休み親子歴史教室準備（島崎）
8	8月8日	金	夏休み親子歴史教室準備（島崎）	
9	8月9日	土	夏休み親子歴史教室運営（島崎）	夏休み親子歴史教室反省会（柳戸）
10	8月10日	日	常設展示について（柳戸）	実習のまとめ（柳戸）

平成16年度

実施期間　平成16年7月24日（土）～8月6日（金）　10日間
実習生名　塩田紘行（武蔵大学）、野澤玲奈・細田加奈子・宮寺幸子（以上大東文化大学）、杉山やよい（大正大学）、保谷和樹（駿河台大学）、山本倫子（東洋大学）

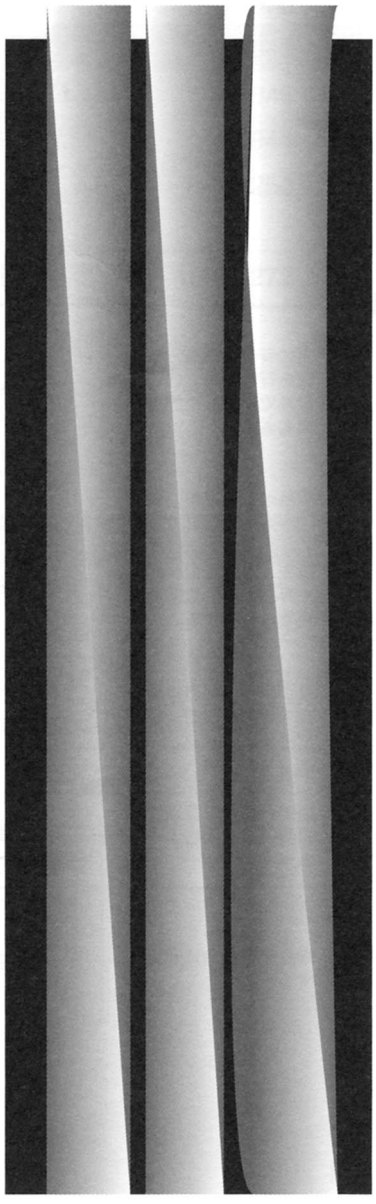
	実施日	曜日	午前	午後
1	7月24日	土	埋蔵文化財出土品展準備（生涯学習課文化財担当）	
2	7月25日	日	埋蔵文化財出土品展準備（生涯学習課文化財担当）	
3	7月27日	火	夏休み親子歴史教室準備（島崎）	
4	7月28日	水	夏休み親子歴史教室準備（島崎）	
5	7月29日	木	夏休み親子歴史教室運営（島崎）	博物館の現状と課題について（久下）
6	7月30日	金	郷土館の施設について（有馬）	常設展示について（有馬）
7	8月3日	火	古文書・民具の整理（有馬）	
8	8月4日	水	古文書・民具の整理（有馬）	林業の道具実測調査（有馬）
9	8月5日	木	収蔵庫の整理（有馬）	梱包用材の制作（有馬）
10	8月6日	金	夏休み子どもクラブ準備（島崎）	七夕飾り準備（久下）



第 3 章

…… Chapter3 ……

【各種データ】



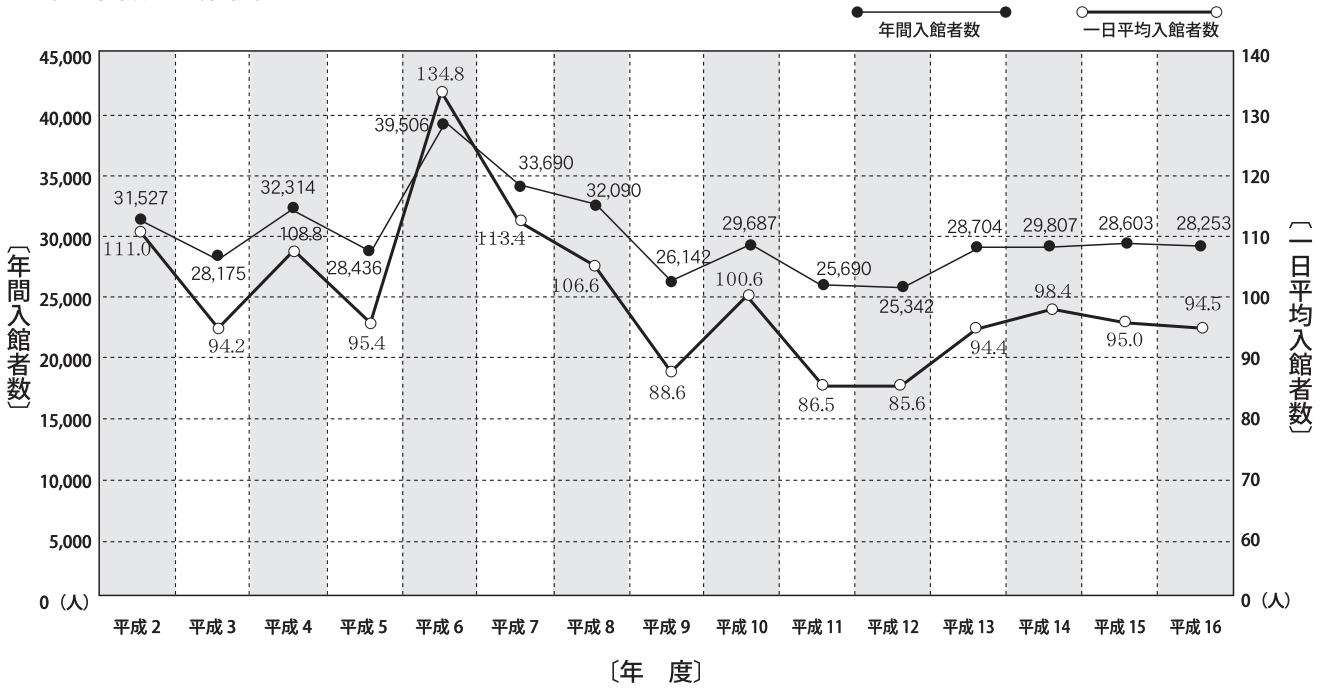
入　館　者　数

月	平成１４年度			平成１５年度			平成１６年度		
	開館日数	合計人数	１日平均	開館日数	合計人数	１日平均	開館日数	合計人数	１日平均
4	25	2,321	92.8	25	2,385	95.4	25	2,145	85.8
5	27	2,598	96.2	27	2,383	88.3	26	2,299	88.4
6	26	2,447	94.1	25	1,740	69.6	26	2,247	86.4
7	26	2,528	97.2	27	2,192	81.2	27	2,258	83.6
8	27	2,814	104.2	27	3,342	123.8	26	2,698	103.8
9	25	2,148	85.9	24	2,090	87.1	25	2,583	103.3
10	27	3,190	118.1	28	2,770	98.9	28	2,460	87.9
11	26	3,528	135.7	26	3,361	129.3	23	3,449	150.0
12	23	1,638	71.2	21	1,488	70.9	20	1,559	78.0
1	23	2,684	116.7	23	2,683	116.7	23	2,126	92.4
2	23	1,934	84.1	24	2,075	86.5	23	2,304	100.2
3	25	1,977	79.1	24	2,094	87.3	27	2,125	78.7
合計	**303**	**29,807**	**98.4**	**301**	**28,603**	**95.0**	**299**	**28,253**	**94.5**

平成２年度から平成 16 年度までの

総　入　館　者　数	447,966 人
開　館　日　数	4,459 日
年平均入館者数	29,864.4 人
１日平均入館者数	100.5 人

〈入館者数の推移〉



歳　出　予　算

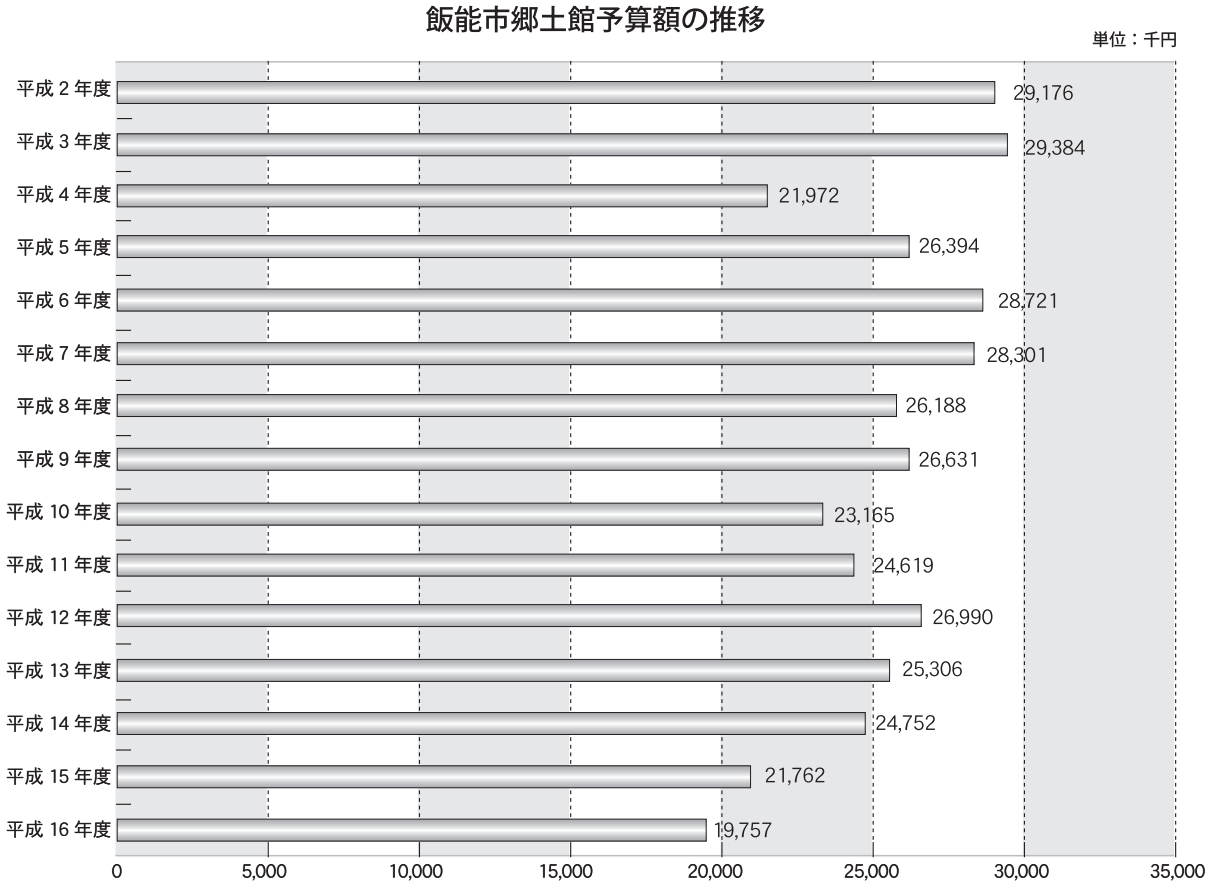
費用等 / 年度	管理運営	教育普及	収集保存	資料整理	調査研究	合計（千円）	A（%）	B（円）	C（円）
14	16,018	4,234	2,043	2,379	78	**24,752**	0.11%	299.2	830.4
	64.7%	17.1%	8.3%	9.6%	0.3%				
15	12,138	5,618	2,363	1,200	443	**21,762**	0.10%	263.4	760.8
	55.8%	25.8%	10.9%	5.5%	2.0%				
16	10,999	4,003	2,425	1,967	363	**19,757**	0.08%	239.8	699.3
	55.7%	20.3%	12.3%	10.0%	1.8%				

（人件費は除く）

A：飯能市一般会計当初予算に対する比率
B：市民１人あたり（当該年度の４月１日現在の人口）の郷土館予算額
C：入館者１人あたりの郷土館予算額

〈費目の説明〉

管理運営費…事務費・光熱水費・清掃委託料・施設の修繕費・郷土館協議会委員報酬・職員研修費などのいわゆるランニングコスト
教育普及費…特別展・学習会・講演会などを開催するための費用
収集保存費…資料購入費・資料保存用消耗品・燻蒸委託料などの費用・資料整理賃金などの費用
資料整理費…資料整理賃金・資料整理用消耗品・写真代などの費用
調査研究費…資料調査旅費・写真代など



図書資料寄贈機関（平成 14 年度～ 16 年度）

埼　玉　県

上尾市教育委員会
朝霞市博物館
跡見学園女子大学花蹊記念資料館
荒川上流工事事務所
伊奈町教育委員会
入間市教育委員会
入間市博物館
入間東部地区文化財保護連絡協議会
岩槻市遺跡調査会
岩槻市教育委員会
浦和くらしの博物館民家園
大井町立郷土資料館
大井町教育委員会
大里村教育委員会
大滝ダム水没地域総合調査会
大滝村教育委員会
大利根町教育委員会
大宮市教育委員会
大宮市立博物館
小鹿野町教育委員会
岡部町教育委員会
小川町教育委員会
桶川市上日出谷南遺跡発掘調査会
桶川市教育委員会
桶川市高井遺跡発掘調査会
桶川市堀ノ内遺跡発掘調査会
桶川市歴史民俗資料館
春日部市教育委員会
春日部市郷土資料館
合角ダム水没地域総合調査会
神泉村教育委員会
上福岡市教育委員会
上福岡市立歴史民俗資料館
川口市立科学館
川越市
川越市遺跡調査会
川越市教育委員会
川越市立博物館
川越市立美術館
川里町教育委員会
川島町
川島町教育委員
北本市教育委員会
行田市郷土博物館
くまがや古文書学習研究会
熊谷市教育委員会
熊谷市立図書館
熊谷文化連合
栗橋町教育委員会
合同「葛西用水展」開催実行委員会
江南町
江南町教育委員会
鴻巣市
鴻巣市史編さん調査会
国税庁税務大学校租税史料館
越谷市教育委員会
児玉町
児玉町教育委員会
埼葛地区文化財担当者会
彩湖自然学習センター
さいたま川の博物館
埼玉県
埼玉県教育委員会
埼玉県警察史編さん委員会
埼玉県西部第二広域行政推進協議会
埼玉県西部地域まちづくり協議会
埼玉県文化財保護協会
（財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団
埼玉県立近代美術館
埼玉県立さきたま資料館
埼玉県立自然史博物館
埼玉県立図書館
埼玉県立博物館
埼玉県平和資料館
埼玉県立埋蔵文化財センター
埼玉県立民俗文化センター
埼玉県立文書館
埼玉県立歴史資料館
さいたま市
さいたま市教育委員会
さいたま市立浦和博物館
さいたま市立博物館
さいたま市立漫画会館
さいたま文学館
彩の国さいたま人づくり広域連合自治人材開発センター政策研究部
彩の国まごころ国体熊谷実行委員会
彩の国まごころ国体飯能市実行委員会
幸手市史編さん室
（財）サトエ記念館
狭山古文書勉強会

菖蒲町教育委員会
庄和町遺跡調査会
庄和町教育委員会
白岡町
杉戸町
駿河台大学カヌー部
駿河台大学資格課程
駿河台大学文化情報学部
川口市教育委員会
秩父地区文化財保護協会
秩父宮記念三峯山博物館
鶴ヶ島市遺跡調査会
鶴ヶ島市教育委員会
所沢航空発祥記念館
所沢市教育委員会
戸田市教育委員会
戸田市立郷土博物館
長瀞町教育委員会
名栗村教育委員会
日本工業大学工業技術博物館
蓮田市教育委員会
鳩ヶ谷町
鳩山町遺跡調査会
鳩山町教育委員会
花園町遺跡調査会
花園町教育委員会
羽生市役所
羽生市立郷土資料館
羽生市立図書館
飯能市ソフトテニス連盟
東松山市教育委員会
比企地区文化財振興協議会
日高市教育委員会
深谷市教育委員会
富士見市教育委員会
富士見市立資料館
富士見市立難波田城資料館
富士見市立水子貝塚資料館
松伏町教育委員会
三郷市
美里町遺跡調査会
美里町教育委員会
宮代町遺跡調査会
宮代町教育委員会
宮代町郷土資料館
三芳町立歴史民俗資料館
三芳町教育委員会
毛呂山町歴史民俗資料館
八潮市教育委員会
横瀬町歴史民俗資料館
吉川市教育委員会
吉見町教育委員会
与野市教育委員会
寄居町教育委員会
嵐山町遺跡調査会
嵐山町教育委員会
立正大学博物館
鷲宮町立郷土資料館
蕨市立歴史民俗資料館

東 京 都

あきる野市教育委員会
足立区教育委員会
板橋区教育委員会
板橋区立郷土資料館
医療法人　永世会
青梅市教育委員会
青梅市郷土資料室
青梅市郷土博物館
大田区立郷土博物館
㈱小澤製線所・ティケイトレード㈱埋蔵文化財事業部
外務省
学習院大学史料館
葛飾区郷土と天文の博物館
加藤建設㈱埋蔵文化財調査部
カトリック聖パウロ修道会
環境省
北区飛鳥山博物館
北区教育委員会
共和開発㈱
清瀬市郷土博物館
くにたち郷土文化館
（財）くにたち文化・スポーツ振興財団
建設省
国際基督教大学文学博物館
国土交通省
国立公文書館
古代オリエント博物館
渋沢史料館
㈱四門
昭和館
（財）新宿区生涯学習財団
新宿区戸山遺跡調査会
新宿区西早稲田三丁目遺跡調査団
新宿歴史博物館
杉並区立郷土博物館
世田谷区立郷土資料館
創価学会

台東区文化財調査会
大東文化大学博物館学講座資料室
立川市遺跡調査団
立川市教育委員会
玉川文化財研究所
多摩市
多摩市教育委員会
（財）多摩市文化振興財団
たましん地域文化財団
(有) 多摩総合文化財研究所
中央区明日町遺跡調査会
中央区教育委員会
調布市郷土博物館
東京都江戸東京博物館
東京都住宅局
（財）東京都生涯学習文化財団
（財）東京都歴史文化財団
東京文化財研究所
豊島区教育委員会
豊島区立郷土資料館
西東京市教育委員会
日本橋一丁目遺跡調査会
野村不動産㈱
㈱博報堂
八王子市教育委員会
八王子市郷土資料館
パルテノン多摩
東村山市ふるさと歴史館
日野市ふるさと博物館
社会福祉法人　武尊会
府中市教育委員会
府中市郷土の森博物館
府中文化振興財団
福生市教育委員会
福生市郷土資料室
荒川区教育委員会
文化庁
文京ふるさと歴史館
町田市立自由民権資料館
町田市立博物館
瑞穂町教育委員会
瑞穂町郷土資料館
三井住友建設㈱
三菱地所㈱・野村不動産・テイケイトレード㈱
港区教育委員会
港区立郷土資料館
武蔵大学学芸員課程
武蔵村山市
武蔵村山市教育委員会
武蔵村山市立歴史民俗資料館
明治大学学芸員養成課程
明治大学刑事博物館
明治大学商品博物館
明治大学博物館事務室
文部科学省
早稲田大学会津八一記念博物館
早稲田大学シルクロード研究所
早稲田大学文学部考古学研究室

そ の 他

（財）アイヌ文化振興研究推進機構
赤穂市立歴史博物館
東町立歴史民俗資料館
茨城県立歴史館
小山市立博物館
各務原市教育委員会
笠懸野岩宿文化資料館
笠懸野市教育委員会
神奈川大学日本常民文化研究所
かみつけの里博物館
各務原市歴史民俗資料館
環境庁自然保護局生物多様性センター
菊川町教育委員会
君津郡市文化財センター
君津市教育委員会
久留里城跡資料館
群馬県立自然史博物館
群馬県立文書館
群馬県立歴史博物館
国立歴史民俗博物館
相模原市立博物館
寒川町史編集委員会
三和町立博物館
塩尻市教育委員会
塩尻市立平出遺跡考古博物館
下関市立考古博物館
袖ヶ浦市
袖ヶ浦市教育委員会
袖ヶ浦市土地開発公社
霞ヶ浦町郷土資料館
高岡市立博物館
高岡市万葉歴史館
高崎市観音塚考古資料館
高萩市教育委員会
田原市教育委員会
田原市博物館
千葉県立文書館
千葉市

千代川村史編さん委員会
千代川村教育委員会
土浦市立博物館
津山郷土博物館
東北陶磁文化館
東北歴史博物館
（財）栃木県文化振興事業団埋蔵文化財センター
（財）鳥取民藝美術館
富岡市立美術館・福沢一郎記念美術館
長野市教育委員会
長野市教育委員会松代藩文化施設管理事務所
長野市立博物館
流山市教育委員会
日本のあかり博物館
（社）日本ユネスコ協会連盟
野田市郷土博物館
萩市郷土博物館
秦野市
秦野市立桜土手古墳展示館
兵庫県立美術館
平塚市博物館
藤沢市教育委員会
北海道立北方民族博物館
北橘村教育委員会
松戸市立博物館
松本市
水戸市立博物館
茂原市立美術館・郷土資料館
横浜開港資料館
横浜市ふるさと歴史財団
立命館大学国際平和ミュージアム

職　員

平成１４年度

館　長　　久　下　文　男
主　査　　島　崎　淳　子
学芸員　　尾　崎　泰　弘
学芸員　　有　馬　雅　彦
嘱　託　　上　野　登志子
臨　時（資料整理・特別展準備）
　　石　田　朋　子
　　櫻　井　なを子
臨　時（清掃）　井　上　茂　樹

平成１５年度

館　長　　久　下　文　男
主　査　　島　崎　淳　子
学芸員　　柳　戸　信　吾
学芸員　　有　馬　雅　彦
嘱　託　　上　野　登志子
臨　時（資料整理・特別展準備）
　　石　田　朋　子
　　櫻　井　なを子
臨　時（清掃）　井　上　茂　樹

平成１６年度

館　長　　久　下　文　男
主　査　　島　崎　淳　子
主　査　　塩　野　智　巳（平成 17 年 1 月 1 日着任）
学芸員　　柳　戸　信　吾
学芸員　　有　馬　雅　彦
嘱　託　　上　野　登志子（平成 16 年 12 月 31 日退職）
臨　時（資料整理・特別展準備）
　　石　田　朋　子
　　櫻　井　なを子
臨　時（清掃）　井　上　茂　樹

飯能市郷土館条例

平成元年 12 月 27 日条例第 33 号

(設置)
第 1 条　郷土の歴史、民俗及び考古に関する資料 (以下「資料」という。) の収集、保管、調査及び研究を行うとともに、これらの活用を図り、もって市民の郷土愛と文化の向上に寄与するため、飯能市郷土館 (以下「郷土館」という。) を飯能市大字飯能 258 番地の 1 に設置する。
(業務)
第 2 条　郷土館は、次に掲げる業務を行う。
(1)　資料の収集、整理及び保存に関すること。
(2)　資料の調査及び研究に関すること。
(3)　資料の展示及び利用に関すること。
(4)　資料についての専門的な知識の啓発及び普及に関すること。
(5)　その他郷土館の設置の目的を達成するために必要な事業に関すること。
(管理)
第 3 条　郷土館は、飯能市教育委員会 (以下「教育委員会」という。) が管理する。
(職員)
第 4 条　郷土館に、館長その他必要な職員を置く。
(休館日)
第 5 条　郷土館の休館日は、次のとおりとする。
(1)　月曜日 (この日が国民の祝日に関する法律 (昭和 23 年法律第 178 号) に規定する休日 (以下「休日」という。) である場合を除く。)
(2)　休日の翌日 (この日が日曜日又は休日である場合を除く。)
(3)　1 月 1 日から同月 4 日まで及び 12 月 28 日から同月 31 日まで
2　教育委員会は、必要があると認めるときは、前項に規定する休館日のほか臨時に休館し、又は休館日に開館することができる。
(利用時間)
第 6 条　郷土館を利用することができる時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。ただし、教育委員会が必要があると認めるときは、これを変更することができる。
(利用の制限)
第 7 条　教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合は、郷土館の利用を制限することができる。
(1)　公の秩序又は善良の風俗を乱すおそれがあると認められるとき。
(2)　その他郷土館の管理上支障があると認められるとき。
(使用料)
第 8 条　郷土館の使用料は、無料とする。
(損害賠償)
第 9 条　郷土館の利用者は、自己の責めに帰すべき理由により、郷土館の施設、設備及び資料を損傷し、又は滅失したときは、これを修理し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、教育委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、その全部又は一部を免除することができる。
(郷土館協議会)
第 10 条　郷土館の運営に関する事項を調査し、及び審議するため、飯能市郷土館協議会 (以下「協議会」という。) を置く。
(協議会の組織)
第 11 条　協議会は、委員 10 人以内をもって組織する。
2　委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が任命する。
(1)　市議会議員
(2)　学校教育の関係者
(3)　社会教育の関係者
(4)　学識経験者
(委員の任期)
第 12 条　委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。
(会長及び副会長)
第 13 条　協議会に、会長及び副会長を置く。
2　会長及び副会長は、委員の互選により定める。
3　会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
4　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。
(協議会の会議)
第 14 条　協議会は、会長が招集し、会議の議長となる。
2　協議会は、委員の 2 分の 1 以上が出席しなければ会議を開くことができない。
3　協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
(庶務)
第 15 条　協議会の庶務は、郷土館において処理する。
(委任)
第 16 条　この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附　則

(施行期日)
1　この条例は、平成 2 年 4 月 1 日から施行する。
(飯能市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正)
2　飯能市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例 (昭和 44 年条例第 8 号) の一部を次のように改正する。

〔次のよう〕略

飯能市郷土館条例施行規則

平成２年３月31日教委規則第５号

（趣旨）

第１条　この規則は、飯能市郷土館条例（平成元年条例第33号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（職員）

第２条　飯能市郷土館（以下「郷土館」という。）に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

（職務）

第３条　館長は、上司の命を受け、郷土館の業務を掌理し、所属職員を指揮監督する。

２　学芸員は、上司の命を受け、郷土館の専門的業務を処理する。

３　その他の職員は、上司の命を受け、事務に従事する。

（施設の利用及び許可）

第４条　学習研修室、特別展示室及び図書室（以下「学習室等」という。）は、郷土館の目的にそった研究会、展示会等に利用することができる。

２　学習室等を利用することができる者は、教育、学術及び地域文化の振興を目的とする個人又は団体とする。

３　学習室等（図書室を除く。）を利用しようとする者は、飯能市郷土館施設利用許可申請書（様式第１号）を館長に提出し、許可を受けなければならない。

４　館長は、前項の許可をしたときは、飯能市郷土館施設利用許可書（様式第２号）を交付するものとする。ただし、必要があるときは条件を付けることができる。

（郷土館資料の利用及び許可）

第５条　郷土館の資料（以下「資料」という。）は、学術上の研究のため、利用することができる。

２　資料を利用しようとする者は、飯能市郷土館資料利用許可申請書（様式第３号）を館長に提出し、許可を受けなければならない。

３　館長は、前項の許可をしたときは、飯能市郷土館資料利用許可書（様式第４号）を交付するものとする。ただし、必要があるときは、条件を付けることができる。

（施設、資料利用許可の取消し等）

第６条　館長は、施設及び資料の利用を許可した者が次の各号のいずれかに該当すると認められるときは、利用の条件を変更し、又は利用の許可を取り消すことができる。

(1)　利用許可の申請に偽りがあったとき。

(2)　条例又はこの規則に違反したとき。

（資料の寄贈及び寄託）

第７条　館長は、資料の寄贈及び寄託を受けることができる。

２　資料を寄贈しようとする者は、飯能市郷土館資料寄贈申請書（様式第５号）を、資料を寄託しようとする者は、飯能市郷土館資料寄託申請書（様式第６号）を館長に提出するものとする。

３　館長は、資料を寄贈した者に対して飯能市郷土館資料受領書（様式第７号）を、資料を寄託した者に対して飯能市郷土館資料受託書（様式第８号）を交付するものとする。

４　寄託を受けた資料は、郷土館所蔵の資料と同様の取り扱いをするものとする。ただし、当該資料の館外貸出しについては、寄託者の承認を得なければならない。

５　館長は、不可抗力による寄託資料の損害に対して、その責めを負わないものとする。

（委任）

第８条　この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育長が定める。

附　則

この規則は、平成２年４月１日から施行する。

附　則（平成４年教委規則第７号）

この規則は、平成５年１月１日から施行する。

附　則（平成10年教委規則第６号）

この規則は、平成10年４月１日から施行する。

附　則（平成13年教委規則第５号）

この規則は、平成13年５月１日から施行する。

附　則（平成15年教委規則第９号）

この規則は、平成15年４月１日から施行する。

（以下、様式は省略）

印刷の仕様

紙　　型：A4 版
紙　　質：（表紙）　マットコート紙　菊判　111kg
　　（本文）クリームキンマリ　菊判　62.5kg
印 刷 方 法：オフセット印刷
スクリーン線数：175 線
製　　本：無線綴じ

飯能市郷土館館報　郷土館のプロフィール

第 4 号

平成 18 年 3 月 31 日発行

発行　飯能市郷土館
〒357-0063 埼玉県飯能市大字飯能 258-1
ＴＥＬ（042）972 － 1414
ＦＡＸ（042）972 － 1431

印刷　有限会社山村印刷
〒357-0022 埼玉県飯能市新光 50-33
ＴＥＬ（042）973 － 5819



小さな発見　新たな出会い　大きな喜び

飯能市郷土館

埼玉県飯能市大字飯能 258-1
TEL(042)972-1414　FAX(042)972-1431

R100
古紙配合率 100％再生紙を
使用しています。